



 **埼玉県**

臨床研修病院ガイドブック
2015

はじめに

● 埼玉県の地勢

埼玉県は関東平野の中央に位置し、東京都をはじめとする 1 都 6 県に隣接しています。全域が都心から約 100km の圏域に含まれ、多数の路線を有する鉄道網や東西南北を結ぶ高速道路網といった充実した交通網を持っています。

県土の広さは、東西約 103km、南北約 52km、面積はおよそ 3,800 k m²で、約 3 分の 2 を平野が占めています。風水害が少なく、また、全国的に見ても快晴日数が多く、暮らしやすい気候となっています。

● 高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在 343 の病院があります。(平成 26 年 4 月 1 日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

首都東京までわずかな距離にあり、交通網も発達し、多様な産業が集積する一方で、豊かな水と緑に恵まれた「彩の国さいたま」は、チャンスに満ちた都市の魅力とゆとりある自然の魅力を併せ持っています。

国の行政機能や商業・文化機能などが集積したさいたま新都心をはじめ、ますます発展を遂げる埼玉県は、医学の研鑽の場としても、生活の場としても、とても魅力あふれる県です。



INDEX 埼玉県臨床研修病院紹介 (保健医療圏別)

 基幹型臨床研修病院	南部保健医療圏	① 川口市立医療センター…………… 1
		② 済生会川口総合病院…………… 3
		③ 埼玉協同病院…………… 5
		④ 戸田中央総合病院…………… 7
	南西部保健医療圏	⑤ 朝霞台中央総合病院…………… 9
		⑥ 国立病院機構 埼玉病院…………… 11
		⑦ 新座志木中央総合病院…………… 13
	東部保健医療圏	⑧ 春日部市立病院…………… 15
		⑨ 秀和総合病院…………… 17
		⑩ 春日部中央総合病院…………… 19
		⑪ 越谷市立病院…………… 21
		⑫ 草加市立病院…………… 23
		⑬ みさと健和病院…………… 25
		⑭ 三郷中央総合病院…………… 27
	さいたま保健医療圏	⑮ 埼玉メディカルセンター…………… 29
		⑯ さいたま市立病院…………… 31
		⑰ さいたま赤十字病院…………… 33
		⑱ 東大宮総合病院…………… 35
	県央保健医療圏	⑲ 上尾中央総合病院…………… 37
川越比企保健医療圏	⑳ 小川赤十字病院…………… 39	
	㉑ 関越病院…………… 41	
西部保健医療圏	㉒ 国立病院機構 西埼玉中央病院…………… 43	
	㉓ 埼玉石心会病院…………… 45	
利根保健医療圏	㉔ 行田総合病院…………… 47	
	㉕ 羽生総合病院…………… 49	
	㉖ 済生会栗橋病院…………… 51	
北部保健医療圏	㉗ 熊谷総合病院…………… 53	
	㉘ 深谷赤十字病院…………… 55	
 大学病院	東部保健医療圏	㉙ 獨協医科大学越谷病院…………… 57
	さいたま保健医療圏	㉚ 自治医科大学附属さいたま医療センター… 59
	県央保健医療圏	㉛ 北里大学メディカルセンター…………… 61
	川越比企医療圏	㉜ 埼玉医科大学病院…………… 63
		㉝ 埼玉医科大学総合医療センター…………… 65
	西部保健医療圏	㉞ 埼玉医科大学国際医療センター…………… 67
 その他の臨床研修病院	西部保健医療圏	● 防衛医科大学校病院
	 埼玉県総合医局機構について…………… 69	

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院（防衛医科大学校病院を除く。）を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。

MAP

病院名	〒	所在地
1 川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿 180
2 済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口 5 - 11 - 5
3 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曾呂 1317
4 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町 1 - 19 - 3
5 朝霞台中央総合病院	351-8551	朝霞市西弁財 1 - 8 - 10
6 国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪 2 - 1
7 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北 1 - 7 - 2
8 春日部市立病院	344-8588	春日部市中央 7 - 2 - 1
9 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田 1200
10 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町 5 - 9 - 4
11 越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷 10 - 47 - 1
12 草加市立病院	340-8560	草加市草加 2 - 21 - 1
13 みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野 4 - 494 - 1
14 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央 4 - 5 - 1
15 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 4 - 9 - 3
16 さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室 2460
17 さいたま赤十字病院	338-8553	さいたま市中央区上落合 8 - 3 - 33
18 東大宮総合病院	337-0051	さいたま市見沼区東大宮 5 - 18
19 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座 1 - 10 - 10
20 小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町大字小川 1525
21 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折 145 - 1
22 国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭 2 - 1671
23 埼玉石心会病院	350-1323	狭山市鷲ノ木 1 - 33
24 行田総合病院	361-0056	行田市持田 376
25 羽生総合病院	348-8505	羽生市上岩瀬 551
26 済生会栗橋病院	349-1105	久喜市小右衛門 714 - 6
27 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西 4 - 5 - 1
28 深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西 5 - 8 - 1
29 獨協医科大学越谷病院	343-8555	越谷市南越谷 2 - 1 - 50
30 自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町 1 - 847
31 北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井 6 - 100
32 埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
33 埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田 1981
34 埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根 1397 - 1
防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木 3 - 2



埼玉県内の臨床研修病院 MAP



1

川口市立医療センター

病院の概要

- 病床数 539床
- 医師数 133名（うち指導医数 55名）
- 診療科 内科、消化器内科、血液内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、循環器科、小児科、精神科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科（平成 27 年 4 月 1 日予定）
- 1日平均外来患者数 1113名
- 1日平均入院患者数 465名
- 研修医数 1年目 9名 2年目 7名
- 研修医の主な出身大学 日本大学、福島県立医科大学、日本医科大学、新潟大学、山梨大学、東北大学、岡山大学、北海道大学、東京女子医科大学
- 主な認定施設 地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉（DMAT）指定病院 他



研修プログラムの特色

- 総合コース（募集人員 12名）
社会的に強く望まれているプライマリ・ケアの基本的能力の充実のために、救急部門の研修を1年目に行い、一般臨床医に必要な緊急時に必要な基本手技を一層充実させる目的で、選択必修科目である外科、産婦人科、小児科、精神科を必修と位置づけています。
- 産婦人科コース（募集人員 2名）
産婦人科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また周産期医療の研修や麻酔科の研修も不可欠であるため、必修と位置づけています。これによって後期研修における産婦人科研修がより充実したものになると考えています。
- 小児科コース（募集人員 2名）
NICUを含む小児科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また全人的ケアが特に要求される小児科においては選択期間を3か月とし、幅広い知識と技術の習得、人格の涵養を目指しています。

●スケジュール例

(総合コースプログラム)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科							救急			外科	
2年目	産婦人科		小児科		精神科	地域医療	内科			選択		

(産婦人科コースプログラム)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科							救急			外科	
2年目	産婦人科			小児科			精神科	地域医療	麻酔科		選択	

(小児科コースプログラム)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科							救急			外科	
2年目	小児科			精神科	地域医療	産婦人科		内科	選択			

各コースとも研修1年目に救急部門2か月、研修2年目に精神科1か月、地域医療1か月の研修を行います。

研修医の処遇

- 給与：1年次 339,200円/月 2年次 353,000円/月
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（4回/月）
- 諸手当：宿日直手当あり
- 宿舍：あり（使用者負担 20,000円/月）

メッセージ

当院の特徴

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが一丸になって高度医療の充実に寄与しています。診療科数28科（平成27年4月1日予定）539床を有し、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。



研修責任者から



内科部長

渡邊 成

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は1日の外来患者数約1100名、入院患者数は約500名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることから、症例の豊富さは折り紙つきです。指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的かつ積極的に食欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つ素晴らしい2年間が過ごせると確信しています。

先輩研修医から



研修医1年目

中川 智絵

初期研修の期間は大学から離れて一般病院で研修しようと思い、選択期間が長いこと、救命救急センターやNICUがあること、研修医数が少なくないことを条件に当院を選びました。

実際に研修してみたところ、数多くの症例や手技を経験でき、かけがえのない仲間や信頼できる指導医の先生方に恵まれ、科と科の垣根を越えた、のびのびとした人間関係を築くことができました。また、急性期医療に興味があったので、多くの急性期医療の症例を診ることができる当院で、非常に充実した研修を受けることができます。このような充実した研修を受けられる当院でぜひ一緒に学びましょう。

連絡先

CONTACT

川口市立医療センター

庶務課庶務係人事担当

〒333-0833 川口市西新井宿 180 番地

TEL 048-287-2525（代表）

FAX 048-280-1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.lg.jp

URL <http://kawaguchi-mmc.org/>

アクセス 埼玉高速鉄道線 新井宿駅から徒歩7分

病院の概要

- 病床数 404床
- 医師数 128名（うち指導医数 49名）
- 診療科 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、放射線科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、血管外科、呼吸器外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、小児科、精神科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科
- 1日平均外来患者数 1174名
- 1日平均入院患者数 360名
- 研修医数 1年目 12名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学、旭川医科大学、岩手医科大学、金沢大学、北里大学、岐阜大学、杏林大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、産業医科大学、島根大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、帝京大学、東海大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、東北大学、獨協医科大学、鳥取大学、新潟大学、日本大学、日本医科大学、浜松医科大学、福井大学、福島県立医科大学、北海道大学、三重大学、宮崎大学、山形大学、山梨大学、琉球大学（五十音順）
- 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、ISO9001認定 他



研修プログラムの特色

厚生労働省より提示された必修項目を十分に研修できるよう配慮しています。また、当院のプログラムを通じて、研修医のプライマリケア診療、救急医療、地域医療の基本

が習得できるようにするとともに、患者・医師関係に重点を置き、全人的医療ができるように配慮しています。

●スケジュール例（済生会川口総合病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科		麻酔科		産婦人科	救急
2年目	小児科		救急	地域医療	選択科							

- 必修科目9か月：内科6か月（消化器内科・循環器内科各2か月のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科から2か月選択）、救急2か月（救急外来での2か月間の研修のほかに、日当直業務および各診療科ローテーション時の救急当番での研修を加えて、合計3か月間の研修とします。）、地域医療1か月
- 病院必修（7か月）：外科2か月、麻酔科2か月、小児科2か月、産婦人科1か月
- 選択科目（8か月）：上記「病院の概況」の診療科目のほか、地域保健から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院での研修となります。

研修医の処遇

- 給与：1年目：36万円/月 2年目：40万円/月
- 賞与 1年目：10万円/年 2年目：20万円/年
- 諸手当：当直手当、住宅手当、通勤手当あり
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険あり
- 当直：あり（4回/月）
- 宿舎：あり（世帯用も用意）
- その他：健康診断 2回/年、ワクチン接種

メッセージ

当院の特徴

高度先進医療や救急医療を実践し、質の高い安全、かつ安心できる医療を提供し、患者さんにはクリニカルインジケーター等を用い積極的に医療情報を開示するとともに、インフォームドコンセント/インフォームドチョイスを原則に、与える医療から患者参加型、もしくは患者選択型による医療を行っています。

研修責任者から



研修管理委員会委員長
(副院長・外科主任部長)

佐藤 雅彦

当院は、荒川を境に東京都と接する埼玉県川口市に位置する地域中核病院です。

平成 17 年に病院建物を一新し、最新医療設備を有する 404 床の病院として地域医療に貢献しています。

また、平成 27 年 6 月の完成を目前に、

増床および救急・健診センターの拡充、ICU・NICU の増設、GCU の新設等増改築計画に着手しました。

医師数は、初期研修医を含め、常勤医師 120 余名です。医師は、新潟大学、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、順天堂大学等の医局より派遣されており、また多くの指導医は、厚生労働省の指針による講習会を受講しており、十分な指導ができる体制を確保しています。

当院の『研修理念』と『研修基本方針』の下、700 余名の職員が研修医の指導者として、よりよい研修病院となるよう努力しています。

当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、看護師をはじめメディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の 2 年間でプライマリケアを中心に最低必要な態度、知識、技術を体得するよう努力してください。

できる限りの協力をします。



先輩研修医から



研修医 1 年目

武 義基

当院を初めて訪れた時、誰もが明るくあいさつをしてくれた。その後、当院は「あいさつ」を特に大事にしていることを知った。だからこそ、当院はこんなに

明るく雰囲気が良いのだと感じました。

また、指導してくださる先生方、看護師さんやその他のスタッフ、皆が本当に温かく研修医をサポートしてくれます。分からないことがあっても、質問をすると職種を問わず丁寧に教えてくれて、数多くの手技を経験させて頂けるので、研修をする上でとても心強いです。

そして、何より心の支えとなっているのが、同じ研修医の仲間たちです。12 人という、多すぎず少なすぎないちょうど良い人数であり、一緒に勉強をしたり、普段はもちろんプライベートでも、本当に仲の良い仲間です。ぜひとも自分の目で見て感じて、それを知って欲しいです。

気楽に病院見学に来てください。その時は、元気のよいあいさつでお迎えしたいと思っています。お待ちしております。

連絡先

CONTACT

済生会 川口総合病院

臨床研修室
久木田 篤史

〒 332-8558 川口市西川口 5-11-5

TEL 048-253-1551 (代表)

FAX 048-256-5703

E-mail kensyu@saiseikai.gr.jp

URL http://www.saiseikai.gr.jp

アクセス JR 京浜東北線西川口駅から徒歩 10 分

3

医療生協さいたま生活協同組合

埼玉協同病院

病院の概要

- 病床数 401 床
- 医師数 67 名（うち指導医数 42 名）
- 診療科 内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、小児科、整形外科、外科、脳神経外科、産婦人科、皮膚科、放射線科、麻酔科、精神科、神経内科、眼科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
- 1 日平均外来患者数 1098.7 名
- 1 日平均入院患者数 333.5 名
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 4 名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学、三重大学、埼玉医科大学、東北大学、順天堂大学
- 主な認定施設 日本内科学会認定制度教育病院、日本小児科学会専門医研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修認定施設、日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設 他



研修プログラムの特色

初期研修は、まず総合内科で 4 ヶ月間一貫した指導を受け、その後内科、救急（内科 E R、整形外科救急を含む）、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療の研修を行います。指導の体制は、屋根瓦方式をとっており、指導医

の下、2～6 年目の医師が日常的な相談にのり研修を行っています。さらに、看護師、医療相談員（S W）などのメディカルスタッフと一緒にカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添った医療を行う姿勢を身に付けます。

●スケジュール例（埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	総合内科			内科			救急	麻酔科	外科		産婦人科	
2 年目	内科		地域医療・救急			小児科	選択					

※必修項目：内科（6 ヶ月）、救急（3 ヶ月）、地域医療（1 ヶ月）
 病院が定める必修項目（上記項目に加えて）：内科（2 ヶ月）、麻酔科（1 ヶ月）、外科（2 ヶ月）、小児科（2 ヶ月）、

産婦人科（1 ヶ月）
 選択：内科、救急、地域医療、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科

研修医の処遇

- 給与：1 年次 35.7 万円／月 2 年次 39.7 万円／月 賞与年 2 回（2014 年度実績 3.7 ヶ月）。
- 諸手当：住宅手当、家族手当、当日直手当、年末年始勤務手当あり
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 当直：あり（4～5 回／月） ● 宿舎：なし（住宅手当あり【月額 5 万円まで支給】）
- その他：常勤採用。学会・研修会参加補助あり。院内保育所あり。夏期・年末年始・有給休暇などあり。

メッセージ

当院の特徴

埼玉県の南部地域において、地域医療に力を注ぎ、地域の方たちとの保健予防活動、救急医療（2014年救急車搬入台数3,500台）、慢性疾患医療、リハビリ、在宅医療まで一貫した総合的医療を患者さんの立場にたって実践しています。診療圏は川口市、戸田市、蕨市、さいたま市を中心とした急性期医療を担う中核病院です。



研修責任者から



研修管理委員長
(病院長)

増田 剛

医師人生にとって初めての2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創って頂きます。当院は開院以来、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。2011年に教育研修センター(SKYMET)を立ち上げ、生涯研修を見据えた全職種のための教育研修部門として、講演会や研修会を運営しています。初期研修から後期研修、その後の資格獲得やスキルアップなど、個々の医師のライフサイクルに合わせた援助が出来ると考えています。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から



後期研修3年目
(5年目)

熊谷 尚子

総合内科はチーム制を取っています。各チームには後期研修医が数名ずつ在籍しており、初期研修医の先生の指導に当たります。感染症・脳血管障害・代謝性疾患・心疾患など症例は多岐に渡り、非常に勉強になります。研修医向けのレクチャーは1~2回/週あります。教育研修センター(SKYMET)主催で、他の施設から著名な先生方をお招きしての貴重な講演会が毎月のように聴講できます。研修医を育てるということに非常に熱心な病院です。レクチャーやカンファレンス、講演会から非常に多くのものを学ぶことができます。一方で市中病院らしく手技も豊富に経験でき、バランスの良い研修ができたと思います。上級医の先生方やスタッフの皆さんが患者さんに対して真摯に向き合っており、退院後の生活にまで気を配る姿勢を身に付けることができました。

また、初期研修のときから少しずつ外来診療を経験できるのも大きな特徴です。上級医の先生から指導を受けながら、プライマリ・ケアを学ぶ絶好の機会になります。このような充実した研修を受けられる当院で、ぜひ一緒に学びましょう。

連絡先

CONTACT

医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院

教育研修センター
市川 大輔

〒333-0831 川口市木曾呂 1317

TEL 048-296-5822 (直通)

FAX 048-296-8247

E-mail skymet @ mcp-saitama.or.jp

URL http://www.skymet.jp/

アクセス JR 武蔵野線東浦和駅から徒歩 15 分

病院の概要

- 病床数 462 床
- 医師数 105 名（うち指導医数 22 名）
- 診療科 内科（糖尿病・内分泌）、消化器内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、泌尿器科、移植外科、救急科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、眼科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、緩和医療科、病理部、在宅医療部、メンタルヘルス科
- 1 日平均外来患者数 1239.2 名
- 1 日平均入院患者数 398.1 名
- 研修医数 1 年目 7 名 2 年目 6 名
- 研修医の主な出身大学 東京医科大学、新潟大学、聖マリアンナ医科大学、日本医科大学、島根大学、群馬大学、東京女子医科大学、埼玉医科大学、産業医科大学、獨協医科大学、鹿児島大学など
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設 他



研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定している必修科目として内科系 6 ヶ月、救急 3 ヶ月、地域医療 1 ヶ月、選択必修（小児、精神、産婦人科、麻酔）3 ヶ月に加え、外科系 3 ヶ月を必修とする基本プログラムにより、初期臨床研修到達目標の達成を図っています。また、

選択期間を 8 ヶ月とすることで、後期研修への移行が円滑に進むようなプログラムとなっています。

募集する研修医数を 8 名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。

●スケジュール例（戸田中央総合病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系 6ヶ月						外科系 3ヶ月			救急科 3ヶ月		
2年目	地域医療	選択必修 3ヶ月		自由選択 8ヶ月								

*内科系 6 ヶ月（一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、+消化器内科又は循環器内科）、外科系 3 ヶ月（外科、整形外科）、救急科 3 ヶ月、地域医療 1 ヶ月、選択必修 3 ヶ月（産婦人科・精神科・小児科・麻酔

科より 2 科以上選択）、自由選択 8 ヶ月（一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、小児科、外科、泌尿器科、心臓血管外科、整形外科、緩和医療科、救急科、麻酔科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、産婦人科）

研修医の処遇

- 給与：1 年次 36 万円／月 2 年次 40 万円／月
- 保険：組合健康保険、その他各種保険あり
- 当直：あり（1 年次 8 千円／回、2 年次 1 万円／回）
- 諸手当：病院規程による
- 宿舎：あり

メッセージ

当院の特徴

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、埼玉県のがん診療指定病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約14件/日、約427件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから…」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。



研修責任者から



副院長

高木 融

鉄は熱いうちに打てといいます。臨床研修に望む医師は多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一歩を踏み出されることでしょう。私たち研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を消すことなくきちんとした教育を行い後期研修への礎を築くことにあります。その為には私たち自身が教育するための質の向上を絶えず模索して行かなくてはならないと考えております。研修医と指導医ともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる研修病院をつくって行きましょう。

先輩研修医から



研修医2年目

林 智宏

地域密着型の病院であるため Common Disease を多く見ることができると考え、戸田中央総合病院を選びました。症例数も多く、内科全科が揃っているということもあり多彩な疾患を経験することができます。プライマリーケアはもちろん、入院患者においては治療方針を主体的に考えることもあるため、やりがいはあると思います。熱心に指導してくださる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。一般的に市中病院は手技が多いとの印象ですが、たしかに当院も手技をやる機会はかなり多く、1人1人の実力に応じてIVH挿入からオペレーターまで経験できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。

連絡先

CONTACT

医療法人社団東光会 戸田中央総合病院

臨床研修担当
遠藤・尾田

〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-19-3

TEL 048-442-1111 (代表)

FAX 048-443-0104

E-mail rinsyou-kensyu@chuobyoin.or.jp

URL http://www.chuobyoin.or.jp

アクセス JR埼京線戸田公園駅から徒歩4分

病院の概要

- 病床数 326床
- 医師数 44名（うち指導医数 35名）
- 診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科、小児科、小児外科、外科 消化器外科、呼吸器外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科 眼科、皮膚科、婦人科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科
- 1日平均外来患者数 989名
- 1日平均入院患者数 307.8名
- 研修医数 1年目 4名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 名古屋市立大学、京都府立大学、岩手医科大学、高知大学、帝京大学、北里大学
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本整形外科学会認定施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設 他



研修プログラムの特色

当院は「高度な医療で愛し愛される病院、患者様を自分の家族と思う医療」を理念とし、いつでも誰でも最善の医療が受けられることを目指し、朝霞市・新座市・志木市・和光市を含む4市の中核病院として活動する急性期病院です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境です。また、プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療を必須とし、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目を選択必修としています。最大12ヶ月間は自由選択になりますので、

将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修することができます。研修医の募集定員を4名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけることができます。当院は2次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に2次救急医療を研修できるのが特徴です。恵まれた環境の朝霞台中央総合病院で、ともに学び、喜びを共有しましょう。

●スケジュール例（基本コース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急部門			選択必修	地域医療	
2年目	自由選択											

※選択必修科目は、外科・麻酔科・産婦人科・精神科の2科目選択。

※自由選択科目は、内科・救急・地域医療・外科・麻酔科・

小児科・産婦人科・精神科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科より自由に選んで研修。

研修医の処遇

- 給与：1年次：36万円/月 2年次：40万円/月、賞与なし
- 諸手当：通勤手当あり
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：2回/月（応相談）手当て 1万円/回
- 宿舎：あり（単身用）
- その他：時間外手当あり

メッセージ

当院の特徴

当院は年間 4,871 件の救急車を受け入れており、手術件数が 3,323 件と非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の 4 科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、医師・看護師・コメディカル・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。

平成 29 年 11 月には 120 床増床、新築移転を行い 446 床の新病院に生まれ変わります。2 年間連続フルマッチの朝霞台中央総合病院で一緒に頑張りましょう！



研修責任者から



臨床研修プログラム
責任者 副院長

飯田 惣授

初期臨床研修とは、医師、そして責任ある一社会人としてのスタートである。その大切なスタートをスムーズに、走りだしてほしい。医師としての資格を取得し、一番熱い思いのあるときに、初期研修の 2 年間を無駄なく有効に使ってほしい。そのためには、情熱を持った研修医に、できる限りその希望にかなう研修が行えるようプログラムの作成を考えている。「医療の主体は、医師ではなく、患者さんである。」また「医師免許とは、医師個人が取得した特権ではなく、患者さんのために精一杯働くという契約の中で行う医療行為を許可された免許である。」このことを、研修の中で自覚してほしい。また、先端の医療は、患者さんを中心に置いて医師、看護師、医療技術職、事務職等、多岐にわたる職種が関わり協力する中で結果を求められる。このチーム医療の中で医師は、常にチームのリーダーとしての自覚と責任を持たねばならない。この研修の中でリーダーとしての素養を身に付けてほしい。医師の技能向上において、知識以上に重要なのは実際の経験である。この 2 年間は、患者さんと接する中で、より多くの臨床経験を積んで将来の大きな飛躍につながる医師としての基礎を築く 2 年間としてほしい。

先輩研修医から



後期研修医

西村 美緒

朝霞台中央総合病院は、病院の 1 歩中に入れば、外来にはいつも患者さんが数多くいて、スタッフも元気がよく、地域密着型で活気のある病院であることがわかります。診療各科、看護・コメディカルとの垣根も低く、困ったときは気軽にコンサルトしやすいのでチーム医療としてスムーズに連携が取れ、非常に働きやすい環境です。研修については、指導医の先生方からマンツーマンで指導を受けられ、手技もどんどん積極的に行うことができます。私はあまり器用ではありませんが、先生方が辛抱強く丁寧に教えてくださったおかげで成長することが出来ました。また、自分の方向性が定まる 2 年次のローテーションは選択期間が 12 ヶ月と長く、自分の希望を伝えれば臨機応変に選択科・期間のプログラムを組むことができます。初期研修の病院選びは、選択肢が多い分難しく、つい有名な病院を選びがちですが、こういった病院もあるんだな、と知るだけでも考え方が柔軟になりますので、1 度病院見学に来てみてください。お待ちしております。最寄駅である東武線朝霞台駅、JR 線北朝霞駅から 3 分と近い上に、池袋まで 17 分で出られますので、仕事後や休日にも楽しく過ごすことができます。各科ローテーション中も他科で興味のある症例がある場合はいつでも参加することができ、いい意味で融通が利きます。臨床研修の 2 年間というのは、医学的知識はもちろんですが、医師としての基本的な行動や考え方、コミュニケーション能力などを養成する時期ではないでしょうか。そういった人間力を養う場として朝霞台中央総合病院は最適ではないかと日々感じながら、楽しく充実した研修医生活を送りました。

連絡先

CONTACT

医療法人社団武蔵野会 朝霞台中央総合病院

総務課長
堀田 義信

〒 351-8551 埼玉県朝霞市西弁財 1-8-10

TEL 048-466-2055 (代表)

FAX 048-466-2059

E-mail info@asakadai-hp.jp

URL http://www.asakadai-hp.jp

アクセス ●東武東上線 朝霞台駅から徒歩 3 分
●JR 武蔵野線 北朝霞駅から徒歩 3 分

病院の概要

- 病床数 350 床
- 医師数 100 名（うち指導医数 33 名）
- 診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器外科、外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 1 日平均外来患者数 948.8 名
- 1 日平均入院患者数 319.5 名
- 研修医数 1 年目 7 名 2 年目 7 名
- 研修医の主な出身大学 慶應義塾大学、埼玉医科大学、信州大学、杏林大学、藤田保健衛生大学、東京医科大学、帝京大学、大分大学、群馬大学、順天堂大学、北里大学、三重大学、川崎医科大学、山口大学
- 主な認定施設 日本内科学会専門医教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設 他



研修プログラムの特色

これまで当院が行ってきた研修実績が厚生労働省や埼玉県に認められ、27 年度から採用人数が 12 人（4 人増）となりました。それに伴い既存の基本コース（8 人）に加え産婦人科コース（2 人）、小児科コース（2 人）を新設しま

した。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。

●スケジュール例（基本コース）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科系								麻酔科	産婦人科	外科	
2 年目	救急	小児科	選択科目								地域医療	

*必修科目として内科系 8 か月間、麻酔科 2 か月間、産婦人科、外科、小児科は最短 1 か月の研修を必修とします。1 年目は、内科系 8 か月と麻酔科 2 か月で研修を行います。救急、産婦人科、外科、小児科は 1 年目または 2 年目の前半で研修します。救急研修については、オリエンテーション後 2 年間の日当直（月 4 回として、96～104

回で 3 か月間に相当）及び 2 年目に 1 か月の日中の救急外来で研修します。2 年目に 1 か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、9 か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修します。

研修医の処遇

- 給与：約 39 万円／月 賞与なし
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舎：あり（希望者多数の場合は入居出来ないことがあります）
- その他：健康診断 年 2 回 インフルエンザ予防接種無料
- 諸手当：通勤手当あり
- 当直：あり（4 回／月）

メッセージ

当院の特徴

当院は名前こそ埼玉病院ですが、立地は県境であるため、500 m歩くとすぐ東京都です。ただし、基本方針は地域に根ざした中核病院として国や埼玉県より地域医療、地域がん診療、循環器病基幹医療、肝疾患、災害医療の拠点として指定を受け、さらに小児・周産期医療も推進していたため200床の増床の認可を受け、29年度開棟に向けて職員一丸となり質の高い医療を行っています。是非一度見学にいらして下さい。

研修責任者から



小児・周産期センター
部長

上牧 勇

初期研修が終わったら、1人で内科当直しても怖くない。と言えるくらいのレベルを身につけてもらいます。内科研修からスタートし、救急外来では、年間100例程度の搬送されてくるCPAの初期対応からcommon diseaseまで幅広く対応し、日中は救急医の指導を受け、8か月の基本となる内科研修期間を過ごします。基本を身につけたら、充実のラインアップの外科系、20名以上の麻酔科、周産期センター開設に向け着々と準備が進む産科、小児科などいろいろな選択科目での特色ある研修が受けられます。研修担当が、研修中半年に1回の面接で、研修状況を確認し、きめ細かい指導をおこなっています。都心に近いため、将来に備えて講習会などへの参加が容易です。こんな環境の中で一緒に仕事しませんか。お待ちしております。

先輩研修医から



研修医1年目

荒井 孝至

当院はH22年に新棟が建ち、また29年度には200床の増床を予定している活気のある病院です。研修医は少人数制であり、1人の研修医が上級医と接する時間は多く実際に臨床で行われている医療を沢山学ぶ事ができ、また手技に関しても積極的にやらせてもらえる事ができますし、件数も多いです。何よりコメディカルの方をはじめ、病院全体の雰囲気が非常に良く、医局も総合医局であるため他科の先生でも気楽に相談出来るなどの利点があります。研修医間では定期的に勉強会、抄読会を開いており充実した研修を学ぶ環境が出来ています。立地は副都心線の開通もあり都心へのアクセスは良好です。是非一度病院見学に来ていただき雰囲気を感じ取っていただければと思います。

連絡先

CONTACT

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

事務部 管理課 庶務係
牛野 美紀

〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1

TEL 048-462-1101 (代表)

FAX 048-464-1138

E-mail miki@wakho.hosp.go.jp

URL http://saitama-hospital.jp/

アクセス 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに約7分

病院の概要

- 病床数 327床
- 医師数 53名（うち指導医数11名）
- 診療科 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、肛門科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 930名
- 1日平均入院患者数 290名
- 研修医数 1年目 1名 2年目 2名
- 研修医の主な出身大学 新潟大学、鹿児島大学、帝京大学、東京大学、高知大学、山口大学、北海道大学、札幌医科大学、三重大学、日本大学、日本医科大学
- 主な認定施設 日本薬剤師研修センター実務研修受入施設、人間ドック優良指定病院、日本医療機能評価機構、認定証交付病院、看護実習指定病院（3校）他



研修プログラムの特色

内科系は、消化器、循環器、代謝内分泌、血液腫瘍、腎臓高血圧、呼吸器、神経等を含む広い領域での指導体制があり、救急専門医はおりませんが、内科各領域で救急症例を積極的に受入れています。また、外科系（消化器、一般、呼吸器、脳外科、整形、泌尿器、婦人科等）も同様です。内科系・外科系を通じて多くの救急症例を経験出来ます。さらに麻酔科研修でも、救急医療の基礎を成す呼吸循環管

理や臨床薬理の充実した指導を受けられます。また、小児科、産婦人科、精神科等も、個々の研修医の希望に応じて柔軟に対応します。当院は研修医の受入れ枠数を少なくしていますので、研修医1人当たりの指導者数が多く、濃密な指導が保証されています。さらに、看護師、コ・メディカルスタッフなど、あらゆる職種のスタッフが一丸となって研修を支援する体制が築かれています。

●スケジュール例（新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（消化器・内分泌・血液・呼吸器・他）						救急（呼吸器外科・循環器）			地域医療	選択必修（※2）	
	新座志木中央総合病院									※1	※3	
2年目	選択科目（自由選択）											
	内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科・小児科・産婦人科・地域医療											

※内科：6ヶ月 救急：3ヶ月 地域医療：1ヶ月 必修

※1 地域医療：せおクリニック／医療法人五隣会まちだ訪問クリニック／朝霞台中央総合病院ドック健診センター

※2 選択必修5つの診療科（外科・麻酔科・小児科・精神科・

産婦人科）の中から2つ以上を選択（1科目1ヶ月）

※3 小児科：戸田中央総合病院／産婦人科：戸田中央産院／精神科：東武中央病院

研修医の処遇

- 給与：1年次：36万円／月 2年次：40万円／月
- 保険：組合健康保険・厚生年金保険 雇用保険・労災保険
- 宿舍：有（住宅手当は病院規定による）
- 諸手当：通勤手当
- 当直：要相談（1～4回）

メッセージ

当院の特徴

思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な関係、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として、皆様から心から信頼される「愛し愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力を尽くしております。急性期医療から終末期医療まで幅広く診療を行っております。



研修責任者から



乳腺内分泌外科部長

長嶋 隆

当院での臨床研修は、幅の広いかつ多様な研修が出来るように選択科目を多く取れるようにプログラムを作成しています。また、希望があれば、臨床研修管理委員会の承認を得て変更・改善を試みています。さらに、研修医手帳・教育シミュレーター購入、DVD教材等も導入し、2年間の研修が充実したものになるように支援体制を整えています。そして待遇

面においては、宿舎の充実、研修手当のアップ、当直明け半日勤務等安心して研修が出来るようにしています。一方、当院で研修する研修医に対して希望することは、

- ①積極的に臨床に取り組むこと
- ②患者・家族との対話とパートナーシップの構築
- ③コ・メディカルとの協調性、チーム医療
- ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること
- ⑤地域・病院の行事に積極的に参加すること（病院旅行、運動会等）

以上ですが、2年間の臨床研修が1人の医師として、また1人の社会人の基礎となるように頑張っていきましょう！

先輩研修医から



研修医2年目

飯田 健太

当院の特徴は、自分にあった研修が出来ます。コ・メディカルを含め周りのスタッフも優しく、病棟や検査室の雰囲気がとても良く、緊急の検査時等でも気持ち

良く対応してくれます。都心部へのアクセスも非常に良く、日常生活や勉強の両面でも非常に便利です。病院見学も常に行い、中断者の受入も行っています。是非、一度病院見学にいらして下さい。大学病院や他の病院での研修等の経験を踏まえお話したいと思います。平成27年度も初期研修2名入職予定です。

連絡先

CONTACT

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

〒352-0001 埼玉県新座市東北 1-7-2

TEL 048-474-7211 (代表)

FAX 048-472-7581

E-mail s_takizawa@tmg.or.jp

URL http://www.niizashiki-hp.jp

アクセス 東武東上線志木駅から徒歩5分

総務課

滝沢 信介

8

春日部市立病院

病院の概要

- 病床数 350床
- 医師数 63名（うち指導医数28名）
- 診療科 内科、循環器科、消化器内科、血液・化学療法科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、神経科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、健康管理科
- 1日平均外来患者数 668.6名
- 1日平均入院患者数 222.4名
- 研修医数 1年目 4名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 日本大学、産業医科大学、東京医科歯科大学、獨協医科大学、金沢医科大学、宮崎大学、秋田大学、東海大学
- 主な認定施設 地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本循環器学会専門医研修施設 他



研修プログラムの特色

- ①選択必修科目及び選択科目は9ヶ月の研修とし、選択する診療科については、重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し、研修管理委員会が決定します。
- ②地域医療は、診療所（外来診療、在宅、デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設等、多様な研修の組み合わせが可能となっています。
- ③救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗、小児救急平日夜間診療部への参画など、救急医療を重視しています。

●スケジュール例（春日部市立病院 研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（呼吸器・神経・循環器・糖尿病）						救急部門			外科		
2年目	精神科	小児科	地域医療	選択科目（最小単位は0.5ヶ月）								

※1年目…必修内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、選択必修科目のうち外科3ヶ月を必修科目とする

※2年目…必修地域医療1ヶ月、選択必修のうち精神科、小児科1ヶ月を必修科目とする

研修医の処遇

- 給与：1年目 280,700円/月 2年目 296,500円/月、賞与（年額） 1年目 762,801円 2年目 1,215,649円
- 諸手当：当直手当（1回2万円） 交通費実費支給あり
- 保険：政府管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険
- 当直：あり（基本月5回まで） ●宿舎：なし
- その他：住宅助成あり（市内居住の場合、上限月額45,000円）

メッセージ

当院の特徴

当院は平成 28 年には新病院が完成する予定です。新しい病院は、地上 8 階建（免震構造）、363 床を予定し、総合診療科、緩和ケア科など、新しい診療科も設置されます。新しく生まれ変わる最新鋭の設備の中で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか？



研修責任者から



副院長

三宅 洋

初期臨床研修は、医師が生涯を通じて最も多くのことを学ぶ時期です。この期間に医師の基本が出来ます。当院ではこの期間に、常に向上心を持ち、患者に向かう姿勢、真摯に医療に取り組む態度などを習得してもらうことを目標としています。そのために、

少人数の研修医を多くの指導医が丹念に指導を行い、育てることを基本にしています。

初期臨床研修に求められる経験、疾患、症候、手技については、基本的なローテーションの中で、各科指導医のもとで無理なく習得することが出来ます。各科に学会認定の専門医が揃っており、最新の専門的医療・実技も習得してもらえる体制をとり、かつ各診療科間で垣根のない連携した診療を行っています。また、選択科目の期間を十分にとり各々の興味がある経験を広げたり、深めたりすることが出来るように工夫されています。

働きやすく、居心地のよい当院で有意義な研修をしてみませんか。先輩研修医たちも、志を同じくする仲間たちと出会えることを心待ちにしています。

先輩研修医から



研修医 1 年目

星川 大

これから初期臨床研修へと進むみなさんはどのような病院を希望されていますか？当院では市中病院であり、初期臨床研修を通して common disease の診療を身につけたいと考えている方に最適な環境です。

まず当院では、第一に手技の機会に恵まれています。研修医の数は毎年 4～5 人程度のことが多く、症例を取り合いに

ならず十分手技を磨くことが可能です。上級医の先生もバックアップしてくださり、安心して手技に臨むことができることが特徴だと考えております。

また、メリハリがしっかりしていることも当院の魅力です。日中は頭と体を動かし奮闘し、英語論文抄読会や研修医勉強会、時には学会発表会など積極的に勉強をする機会があります。勤務後や週末には自由な時間が持てるため、勉強不足な分野、日中経験した疾患の補足勉強、趣味や休息など、個々人に合わせそのときの状況に応じたマネジメントが可能です。

上級医、指導医の先生方は教育熱心な先生ばかりで、研修医同士も切磋琢磨しながらも仲がよくとても働きやすい環境です。是非一度見学にいらっしゃってください。

連絡先

CONTACT

春日部市立病院

経営管理課 総務担当
渡邊 正樹

〒344-8588 春日部市中央 7 丁目 2 番地 1

TEL 048-735-1261 (代表)

FAX 048-734-2471

E-mail keiei@city.kasukabe.lg.jp

URL http://www.kasukabe-cityhp.jp

アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約 10 分

病院の概要

- 病床数 350 床
- 医師数 40 名（うち指導医数 31 名）
- 診療科 内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科、神経内科、リウマチ科、人工透析内科、アレルギー疾患内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、食道外科、肝臓外科、大腸外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、呼吸器外科、泌尿器科、婦人科（健診のみ）、乳腺外科、眼科、皮膚科、形成外科、内視鏡外科、放射線科、放射線診断科、病理診断科、臨床検査科、救急科
- 1日平均外来患者数 507 名 ● 1日平均入院患者数 176 名
- 研修医数 1年目 2名（協力型研修医） 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 東北大学、金沢大学、新潟大学、東京女子医科大学、東京医科歯科大学、杏林大学 他
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設、日本医療機能評価機構認定病院（Ver.6.0） 他



研修プログラムの特色

内科系各科は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器科であり、腎臓内科は透析医療を含め長い歴史があり、本院とは別にクリニックを併設し関東随一の患者数である400名以上の患者さんに透析を行っています。循環器内科は救急医療とリンクしてinterventionを中心とした勢力的積極的なチーム医療を展開し、内分泌・糖尿病内科は一般糖尿病診療から多種臓器特異的疾患まで外来・コンサルテーションを中心に幅広く対応しています。呼吸器内科では一般呼吸器診療から集中治療・緩和医療までの実践を行いつつ一般感染症診療、睡眠医療、抗がん治療から緩和医療まで取り組んでいます。

す。消化器内科は消化器外科協力のもと、内視鏡検査を中心に積極的に診療を行っています。外科系各科は消化器、血管、泌尿器、整形、脳外科であり、消化器外科では院長指導の下、ヘルニア日帰り手術から最難度の臍頭十二指腸切除術に至るまで精力的に対応しています。血管外科では下肢静脈瘤日帰り手術からグラフト手術まで幅広く対応し、泌尿器科でも幅広く手術に対応しています。整形外科では関節リウマチを中心とした診療から整形外科全般に渡り対応しています。脳神経外科では脳梗塞、髄膜炎から脳血管疾患全般を主に対応し、精力的に脳外科手術を行っています。

●スケジュール例（卒後初期臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科・麻酔科				救急	
2年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択							

◆必修 内科6ヶ月、外科・麻酔科4ヶ月、救急2ヶ月、小児科1ヶ月、精神科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、地域医療1ヶ月

◆自由選択8ヶ月 内科、外科、整形外科、脳外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の処遇

- 給与：約35万円/月、賞与なし
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災適用
- 宿舍：あり 25,000円/月
- 諸手当：通勤手当あり
- 当直：あり（4回/月）

メッセージ

当院の特徴

患者さんにはもちろん、訪れたすべての「人にやさしい」そして「環境にやさしい」をコンセプトとする地域に開かれた病院を目指しています。シンボル空間としての「開放的なロビー」、自然の風を有効利用する「自然換気システム」、リハビリを促す「屋上庭園」などは、これまでの病院のイメージを超え、21世紀の病院にふさわしい「癒し」を感じさせる親しみある空間となっています。それぞれの診療科では、優れた専門医が診療に当たっており、最先端の技術を有する専門家が最新の医療機器を駆使して高度な先進医療を提供しています。

研修責任者から



副院長

桑原 道雄

当院は東武スカイツリーライン沿線に位置する埼玉県春日部市にあります。埼玉県東部の地域医療を担う基幹病院の一つとして、きわめて活動的に医療に取り組んでいます。今までに築きあげた実績から地域住民の方々から信頼され、急性期医療、がん医療、緩和医療健診センター業務まで幅広く展開し、より専門性が高く質の高い医療を提供できる急性期対応型病院として機能しています。2004年に新築された病院は常にメンテナンスが施されて美しく、最新医療機器や最新電子カルテシステムも備えています。病院は全職員が快適に仕事に取り組むことができる環境にあり、医師、看護師、コメディカルスタッフが一丸となって、実りあるチーム医療を習得し、展開しています。当院では、教育理念に従って、チームの中で患者さんの抱える精神的問題にも親身になって対応し、疾患については適切かつ迅速に診断・検査・治療計画を立てて遂行することのできる医師を育成しています。また、救急医療や地域医療にも貢献し、救急患者は原則断らず、指導医の下で研修医の救急患者対応教育も積極的に行っています。

先輩研修医から



協力型研修医
(2013年度開始)

佐藤 陽人

私は2013年4月から秀和総合病院で臨床研修を開始しました。有名な建築家により設計された病院はとても美しく、働きやすい環境です。研修医の人数は少ないですが、病院全体で研修医を育てようという温かい雰囲気を感じます。1年目は、内科系、外科・麻酔科、救急を数ヶ月単位でローテートします。熱心な先生方の指導の下、初期診療や様々な手技等多くの経験をさせて頂き、充実した毎日を過ごすことが出来ました。毎週月曜日に内科および外科カンファレンスが開催され、研修医が発表を行う機会があります。資料作りや発表は簡単ではありませんが、病態の深い理解に繋がると共に将来的な学会発表等において非常に有益です。その他ランチョンセミナー等勉強できる場は色々な所にあり、スタッフの方々も優しく親切で、とても恵まれた環境です。積極的な姿勢によりどこまでも応援して下さいる病院です。いつの日か、同じ職場でお会いできることを楽しみにしています。

連絡先

CONTACT

医療法人秀和会 秀和総合病院

〒344-0035 埼玉県春日部市谷原新田 1200

TEL 048-737-2121 (代表)

FAX 048-737-2903

E-mail takizawa-k@shuuwa-gh.or.jp

URL http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス 東武スカイツリーライン・東武野田線「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間 10分

総務課
滝沢 君雄

病院の概要

- 病床数 404 床
- 医師数 40 名（うち指導医数 8 名）
- 診療科 内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、麻酔科、人工透析
- 1日平均外来患者数 670 名
- 1日平均入院患者数 320 名
- 研修医 1年目 1名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 東京大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学、東邦大学、杏林大学、山梨医科大学、信州大学、川崎医科大学、愛媛大学 など
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院 (ver.6.0)、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設 等



研修プログラムの特色

- 1、内科研修の内容を充実させる目的で、血液浄化センターの体験と高齢化社会に対応した老人内科、在宅医療の研修を行います。
- 2、外科研修では人工心肺装置などを使用した手術を体験させるために心臓血管外科の研修を行い、さらに2次救命処置を完全に習得するために麻酔科研修を行います。
- 3、救急隊員と行動をとることににより、1次救命処置の重要性を理解します。
- 4、病診連携への理解を深めるため、個人診療所での現場体験をします。
- 5、介護支援制度を理解するため、社会福祉施設及び介護老人保健施設を経験します。
- 6、医療と地域福祉との関連について学ぶために、訪問看護ステーション及びグループホームを経験します。
- 7、保健所の役割を理解するため、保健所実習を行います。
- 8、2年目研修の選択期間を最大11ヶ月とし、研修医に自由選択をしてもらいます。

●スケジュール例（春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科 (内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科)					救急 (救急外来・麻酔科)			選択必修 (外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科)		
2年目	地域医療	選択科目 (内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科・心臓血管外科・脳神経外科・麻酔科・泌尿器科・皮膚科 等)										

※8コース（内・循・消・外・泌・整・心外・脳外）のプログラムがあり、指導医と相談のうえプログラムを構成することも可能。

※選択必修科は精神科、産婦人科、小児科、外科、麻酔科の5科目のうち2科目選択（各1ヶ月）、自由選択科は最大11ヶ月

研修医の処遇

- 給与：1年目 42万円/月 2年目 45万円/月
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舎：あり
- その他：有給休暇：1年目10日、2年目11日 特別休暇：慶弔休暇等病院規定による
- 諸手当：当直手当あり
- 当直：あり（2～4回/月）

メッセージ

当院の特徴

IMS（イムス）グループには専門性に特化した病院もあり、選択することも可能です。研修コース例として、①内科自由選択コース②循環器内科コース③消化器内科コース④外科選択指定コース⑤泌尿器科コース⑥心臓血管外科、脳神経外科、整形外科コースがあり、自分に合った研修スケジュールを組むことが可能です。

また、年に1回、研修医の為の研究発表会(医師フォーラム)があり、指導と共に研究を行い、発表を行います。2年間の充実した研修を約束します!!



研修責任者から



臨床研修管理責任者

柳澤 良三

当院での初期研修の2年間は基本的知識、技術、態度を身につけるための重要な時期です。将来どの診療科に進もうとプライマリ・ケアができることが必須であり、そのために

様々な疾病を経験する必要があります。

春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラムでは、近隣施設、IMS（イムス）グループと連携して、研修医の指導を行っているため、Common diseaseからRare Caseまで経験可能です。春日部中央総合病院で、医師としての重要な第一歩を踏み出して頂ければと思います。

先輩研修医から



研修医1年目

村上 大軌

大学を卒業し研修医となると、医学生の時とは違い、医師として自分で考え、自分で行動することが求められます。しかし、国家試験の勉強と実際の臨床の現場では違いがありますし、最初からできようはずもありません。上級医や先輩研修医からのアドバイスや自ら学んだことを蓄積し、医師としての知識・手技・心構えなどを成長させることが、初期研修であると考えています。そのためには、自ら進んで貪欲に知識

を吸収したり、手技を積極的にやらせてもらったりすることが大事になってくると思います。

春日部中央総合病院には、面倒見の良い指導医や上級医が多くいますし、手技なども多数学ばせてもらえます。また、IMSグループ内の他の研修医とも切磋琢磨して成長していけると思います。

当院のプログラムは、医師としての最初のステップであるこの2年間に充実したものにするために、個人個人に合わせたプログラムを組むことが可能ですし、様々な症例を学ぶことができます。

あなたも当院で研修医のスタートを切って、自分自身の理想とする医師像に向かってみませんか？

連絡先

CONTACT

IMSグループ医療法人財団明理会 春日部中央総合病院

臨床研修事務担当
荒木 伸之

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5-9-4

TEL 048-736-1222 (直通)

FAX 048-738-1559

E-mail jinji@kasukabechuo.com

URL http://www.kasukabechuo.com/

アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割駅」下車徒歩5分

11 越谷市立病院

病院の概要

- 病床数 481 床
- 医師数 74 名（うち指導医数 19 名）
- 診療科 内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 1 日平均外来患者数 1101.3 名
- 1 日平均入院患者数 337.9 名
- 研修医数 1 年目 3 名 2 年目 2 名
- 研修医の主な出身大学 順天堂大学、北京大学、帝京大学、和歌山県立医科大学、中国華北煤炭医学院など
- 主な認定施設 日本内科学会教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本脳卒中学会認定専門医研修教育病院、日本呼吸器科学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、小児科専門医研修施設 他



研修プログラムの特色

研修内容は、厚生労働省の卒後研修要綱に準じた 2 年間の総合診療方式です。そして、研修医の将来における希望に応じて、11 か月間選択した診療科での研修を行うことができ、より充実した研修を可能とする構成となっています。

また、募集人員が 8 名と少人数制で、マンツーマンでの研修が行われ、診療や各種手技も積極的に取り組んでいただ

ています。さらに、当院内での研修のほかに希望者は自由選択期間に順天堂大学医学部附属順天堂医院、練馬病院、浦安病院、順天堂越谷病院での研修も行っています。研修医の皆さんが充実した初期臨床研修生活を送れるよう指導体制も充実させています。

●スケジュール例（越谷市立病院 研修プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						救急部門		選択必修		選択診療科	
2 年目	救急部門	地域医療	選択診療科									

* 内科 6 か月（一般内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・神経内科より 4 科選択）、救急部門 3 か月（麻酔科含む）、選択必修 3 か月（一般外科・麻酔科・小児科・産婦人科・

精神科より 2 科選択）、地域医療 1 か月、選択診療科 11 か月

研修医の処遇

- 給与：約 35 万円／月
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舎：あり
- 諸手当：当日直手当あり
- 当直：あり（5 回まで／月）

メッセージ

当院の特徴

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。また、平成25年6月には(財)日本医療機能評価機構より病院機能評価 Ver6.0として更新の認定を受けました。

研修責任者から



臨床研修管理委員会
委員長 (小児科部長)

木下 恵司

越谷市は埼玉県東部に位置する人口約30万人の市です。全国的には、イオンレイクタウンが位置することで有名です。雨上がりや冷え込んだ冬晴れの日には、西に秩父山系が、北に眼を向けると浅間山や、赤城山を眺望することができます。都内へはもちろん、近隣県へもアクセスは便利で、インドア派もアウトドア派も満足できる立地条件です。越谷市立病院は西側に広がる市街地と東側に広がる

耕作地の境目に立地しております。私が当院へ赴任してから約15年がたちますが、周囲の様子も様変わりしました。住宅地が広がり、耕作地が減少してきました。

当院の研修の特色として初期研修医が口を揃えるのは、① common disease が多数経験できること、② 基本的手技が身につくこと、③ 選択期間が長期であることです。①については、一般市中病院であり、医療連携などで地域の開業の先生方より紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common disease が多数経験できます。②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。③については、選択期間が11か月と長期であり、また当院以外でも順天堂大学及び関連病院での研修も可能です。ここ数年、初期研修医の先生方と接してきて、気付いたことがあります。当院を希望する動機は様々であっても、現在の制度のもと、研修に真執に取り組み、後期研修を含めて如何にすれば自己実現できるかということ、皆さんが考えていることでした。

初期研修は、自分の医師としての方法論を身につける基礎研修の期間であると考えます。当院の指導医は、協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者の御応募を期待しています。

先輩研修医から



平成26年3月
初期研修修了研修医

栢原 智道

私は、越谷市立病院の研修医としてとても充実した2年間を過ごすことができました。

当院での初期研修における利点はいくつかありますが、まず募集定員が8人と少人数であることが挙げられます。基本的に同期のメンバーと研修科が重なることがないので、各々が密度の濃い指導を受けることができます。症例や手技を取り合うといった問題も生じません。自分が積極的な姿勢で取り組み、早く指導してもらえます。手技

についても、初期研修中に修得すべきものは大学病院での研修と比べて格段に多くの症例を経験できます。

自由選択期間が多いカリキュラムというのも進路を決める上ではとても役に立ちました。あらゆる診療科をまんべんなく、あるいは興味のある診療科を重点的にといったように、自分に合ったカリキュラムを組むことができます。

また、当院は順天堂大学の関連施設であり、2年次は都内の本院・分院で研修することができます。将来順天堂大学への入局を考えている場合は、実際の勤務内容・診療科の雰囲気を知ったり、様々な人とのコネクションを作ったりできますし、入局しないにしても当院では経験できない稀な症例を見られたりと有意義な時間を過ごすことができます。

スタッフが優しいというのも大きな特徴の1つです。医師、看護師、その他コメディカルの方、事務の方まで研修医を育てていこうという雰囲気であり、変なストレスを感じることなく日々の研修に勤しむことができます。また、研修医の出身大学は様々であり、それによる区別などは一切ありません。

最初の2年間をどの病院で研修するか悩むと思いますが、自分が頑張っただけ伸びることができる当院での研修をお勧めします。

連絡先

CONTACT

越谷市立病院

事務部庶務課庶務担当
岡野 亮太

〒343-8577 越谷市東越谷10丁目47番地1

TEL 048-965-2221 (代表) FAX 048-965-3019

E-mail 10173100@city.koshigaya.saitama.jp

URL http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/

- アクセス
- 越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口(市立病院経由)」「総合公園行き」乗車約7分
 - 南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分
 - 新越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分

12 草加市立病院

病院の概要

- 病床数 380 床
- 医師数 97 名（うち指導医数 15 名）
- 診療科 内科、血液内科、内分泌・代謝内科、膠原病内科、腎臓内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、眼科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、救急科
- 1日平均外来患者数 925.1 名
- 1日平均入院患者数 309.2 名
- 研修医数 1年目 10名（うち協力型研修医 5名）
2年目 6名（うち協力型研修医 5名）
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学 他
- 主な認定施設 災害拠点病院、救急告示病院 他



研修プログラムの特色

研修の1年目は基本的には2か月ずつ、消化器内科+腎臓内科、循環器内科+内分泌・代謝内科、呼吸器内科+血液内科+膠原病内科、外科、麻酔科、救急科をまわります。2年目には必須各科と選択科7か月（その間に救急当直を20回以上）の研修をします。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中であっても希望が変われば

研修予定科の変更も可能です。通年性の研修としては、各科持ち回りのランチョンレクチャーや胸部XP読影、CT/MRI読影などがあります。

研修後の進路については自由ですが、当院で常勤職員としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学各科医局への入局の相談にも応じています。

●スケジュール例（草加市立病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急	麻酔科		選択		
2年目	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	外科	選択 救急当直（20回以上、1回/週）						

* 地域医療は東京足立病院で研修を行います。

* 精神科は後谷診療所で研修を行います。

研修医の処遇

- 給与：月額1年次32万円、2年次34万円（諸手当除く）
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舍：なし
- 諸手当：住居手当、当直手当、通勤手当
- 当直：あり（30～50回/年）

メッセージ

当院の特徴

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約24万の街です。

当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も24科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。また、関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科・外科系・産婦人科・脳神経外科・ICU・CCUが連日当直しており、救急搬送は毎年約5,000件を受け入れています。



研修責任者から



副院長

土屋 史郎

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として1年目2年目とも5人ずつ引き受けており、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数(380床)

に比べて多く、卒後7年目以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。

手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外科の手術は約800件、手術全体では約4,000件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化管内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医から



研修医2年目

矢嶋 習吾

私は、学生時代の病院見学での印象や、研修経験者からの良い評判から当院を2年間の研修先として選びました。

当院について最もアピールしたいポイントは、教育体制の手厚さです。まず内科では、各科でのカンファレンスのほかに、週に一度の全内科合同の内科カンファがあり、指導に慣れたベテランの先生達から科の垣根を超え貴重なアドバイスを

いただくことができます。その他週に一度のレントゲンカンファ、月に一回程度のランチョンセミナーがあり、また不定期で放射線科の先生方がCT・MRIの読影について教えてください。外科については、本人の進路の希望などを加味した上で、大変数多くの症例が経験できます。コウ引きだけでなく、積極的に手術に参加することが可能です。外科志望者にとって、これほどの整った環境はなかなかないと外科の先生方も絶賛されています。

病院全体としての雰囲気も非常によく、楽しく充実した日々を送ることができます。ぜひ当院を見学し、この環境のすばらしさを実際に体験してください。

連絡先

草加市立病院

CONTACT

〒340-8560 草加市草加二丁目21番1号

TEL 048-946-2200 (代表)

FAX 048-946-2211

E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp

URL <http://www.soka-city-hospital.jp>

アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩18分、バス5分

経営管理課
小林 賢太郎

病院の概要

- 病床数 282 床
- 医師数 50 名（うち指導医数 18 名）
- 診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、呼吸器外科、麻酔科、消化器外科、救急科
- 1 日平均外来患者数 802.4 名
- 1 日平均入院患者数 222.4 名
- 研修医数 1 年目 5 名 2 年目 4 名
- 研修医の主な出身大学 琉球大学、秋田大学、帝京大学、鹿児島大学、千葉大学、上海医科大学、日本医科大学
- 主な認定施設 救急指定・第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設 他



研修プログラムの特色

みさと健和病院（基幹型病院）は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的实践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形

外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

人口約 13 万人の三郷市は全国的にも平均年齢が若く、近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、老人はもちろん青壮年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における研修当直などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできることが特徴です。

●スケジュール例（地域医療総合 地域中核型プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（導入研修）				救急科		外科		整形外科		内科（総合診療）	
2 年目	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択内科				選択科			

内科 11 ヶ月（1 年次必修：導入期研修 4 ヶ月 + 2 ヶ月、2 年次必修：5 ヶ月）、救急 3 ヶ月（2 ヶ月 + 当直 1 ヶ月 ※ 当直 1 ヶ月は他科研修期間も含め週に 1 回程度実施）、外科 2 ヶ月、整形外科 2 ヶ月、小児科 1 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、

精神科 1 ヶ月、地域医療 1 ヶ月、自由選択 3 ヶ月（前述の各科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、病理科、ICU、PCU、診療所など）

研修医の処遇

- 給与：（1 年目）月：324,000 円 （2 年目）月：370,000 円 ※研修手当を含む ※賞与年 2 回
- 諸手当：当直手当、家族手当
- 保険：東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、別に法人独自の共済制度あり
- 当直：あり（4～5 回／月）
- 宿舎：あり
- その他：上記以外も法人規定による各種手当あり

メッセージ

当院の特徴

当院では総合内科に比較的長く籍を置き、みっちり基礎を叩き込まれます。実務を通して学ぶ on the job training の良いところのみを残しながら、さらに総合内科医として長年経験を積んできた医師によるフィードバックや独自の教育回診によって深く実践的に学びます。(教育回診はすごいですよ。是非一度見学を！私も見学で感銘を受け、当院での研修を決意しました。)

本来ならば全ての医師が持つべきである generality (そしてしっかりと習得出来ている医師は多くない) を集中的に学ぶことができる環境が当院には備わっています。もちろん簡単な疾患ばかり診ているわけではなく、稀な疾患もあれば高度な医療を要する疾患もあり、時にはより専門な医療が必要なため他科、他院に移ることを余儀なくされる場合もあります。こういう経験を通して疾患頻度を肌で感じることや、その中に潜む稀な疾患をどう診断するか、また専門的な医療を要すると判断し迅速に紹介することの重要性などを単なる知識ではなく“感覚”として習得することができるのです。これは将来内科・外科問わずどの科に進むにしても活きるものだと思いますが、特に総合内科に興味がある方にとっては何にも代え難い財産になると断言出来ます。

研修責任者から



研修委員長
プログラム責任者

岡村 博

私たちは初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました(私もそのひとりです)。当時大学病院などの大病院で初期研修をおこなうことが主流である中、256床の病床数は最少であり、外来の研修や往診の研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたもの

の思います。2004年の新しい研修制度に移行した後も、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅していくプログラムを作ってきました。どのような臨床医がよい医師なのかは、どのような臨床医が地域で必要とされているのかと表裏一体です。今回研修制度が再度変更されましたが、当病院の研修に対する spirit は普遍のものです。

当院の「地域中核型プログラム」に興味があればぜひ見に来てください。そして私たちと一緒に臨床研修をしませんか？

先輩研修医から



後期研修医
1年目

井上裕次郎

みさと健和病院での研修に興味を持ち、ここまで案内を読んで下さっているみなさん、ありがとうございます。みなさんの中には研修病院を決めるにあたり、言葉では表現できない悩みを抱えている人も多いのではないのでしょうか？みさと健和病院は大学病院ほど規模が大きいとはいえない、いわゆる中規模病院です。しかし、そんな決して大きいとはいえない研修病院だからこそ感じられる

こともあります。それは病院スタッフが持っている暖かさと熱意です。まずは、みさと健和病院に見学に来てください。見学に来たときに先輩医師や病院スタッフを見て・聞いて・考えること。きっとその経験が、皆さんの悩む将来の研修病院をどのように選択していくか？そして自分が将来どのような医師になりたいのか？という問題を解決してくれることでしょう。みなさんと一緒に、みさと健和病院で研修する日々が来ることを楽しみにしています。

連絡先

CONTACT

医療法人財団健和会 みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555 埼玉県三郷市鷹野 4-494-1

TEL 048-955-7171 (代表) FAX 048-948-0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL <http://misato.kenwa.or.jp>

- アクセス
- JR常磐線松戸駅からバスで約10分
 - 東京メトロ千代田線金町駅からバスで約15分
 - 首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス三郷中央駅からバスで約12分
 - JR武蔵野線三郷駅からバスで約25分、首都高速道路三郷ICから約3分

病院の概要

- 病床数 303 床
- 医師数 37 名（うち指導医数 9 名）
- 診療科 内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、外科、整形外科、麻酔科、泌尿器科、神経内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、胃腸科、リハビリテーション科
- 1 日平均外来患者数 526 名
- 1 日平均入院患者数 256 名
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 1 名
- 研修医の主な出身大学 東邦大学、愛知医科大学、鹿児島大学
- 主な認定施設 日本内科学会教育関連施設、日本麻酔科学会認定病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設 他



研修プログラムの特色

三郷中央総合病院のほかに研修を行う上尾中央総合病院、柏厚生総合病院、三郷ケアセンターはすべて関連施設となっています。また東邦大学大森病院、大橋病院においても総合

的な研修が可能です。

豊富な症例を有し、地域密着型の充実した研修ができます。

●スケジュール例（臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（必修）						選択必修（外・麻酔・小児・産婦人・精神から2科目以上選択）			救急（必修）		
2年目	選択（内・脳神経外・外・整形外科・循環器・心臓血管外・泌尿器・眼・放射線・耳鼻咽喉・形成外・皮膚・そのほか）											地域医療（必修）

* 協力病院における選択科研修の場合は2か月以内とします。

研修医の処遇

- 給与：月額 1 年次 45 万円・2 年次 50 万円（税込、手当含む）
- 諸手当：住宅手当
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 当直：あり（5 回／月）
- 宿舎：あり

メッセージ

当院の特徴

病院理念：愛し愛され信頼される病院

●「最先端機器導入による高度で専門性の高い医療をめざして」

当院は、救急医療や高度な医療から在宅ケアまで幅広いニーズに対応し、地域に密着した医療サービスを提供している、急性期型の総合病院です。

多くの高度医療機器の整備、専門性の高い医療の充実を図り、地域の中核的役割を確固たるものにしていきます。

研修責任者から



研修管理委員長・
副院長（内科）

内田 耕

当院がある三郷市は、埼玉県南東部に位置し、東京都、千葉県に隣接しています。そのため、都心からのアクセスもよく、秋葉原からつくばエクスプレスを使えば最寄りの三郷中央駅まで約20分です。病床数は約300床で、急性期から回復期、慢性期までのフォローを目的に、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟を兼ね備えています。研修医は上級医の指導のもとに、担当医として診療にあたり、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管、胸腔穿刺、胸腔ドレナージなどの手技も積極的におこなっています。通常型のプログラムは、1年次に内科系（一般内科、循環器）6ヶ月、選択必修3ヶ月（外科・麻酔科など）、必修3ヶ月（救急）を研修します。2年次は地域医療1ヶ月とその他11ヶ月を選択研修します。外科系を主体とするプログラムもあります。研修開始時に2年間のスケジュールが決まっているのではなく、最初の6ヶ月が終了した時点で、病院のシステムや研修医自身の将来の進路に合わせて、その後の研修内容を決めており、個々の研修医のニーズに合った内容に変更可能です。現在、5名の研修医がおり、平成27年度も1名の学生が研修を希望しています。

先輩研修医から



研修医2年目

高田 昭彦

医局の垣根が低く、いろいろな科の先生にコンサルトしやすいのが魅力のひとつだと思います。また、医局と病棟も近くに位置しており、すぐに患者様のもとにも行け、逆に病棟で疑問を生じたときに、すぐに医局に調べに戻れることもできるので、とても研修医が働きやすい環境です。今は、まだ上級医の方々には助けられながら、なんとか日々の仕事をこなしています。東邦大学で勉強する機会もあり、総合的な研修になると思います。まずは見学に来ていただき、当院の雰囲気を実感していただけたらと思います。

連絡先

CONTACT

医療法人 三郷中央総合病院

総務課長 事務長
齋藤 貴之 加藤 守史

〒341-8526 埼玉県三郷市中央四丁目5番地1

TEL 048-953-1321（代表）

FAX 048-952-7279

E-mail m-soumuka@mchp.jp

URL http://mchp.jp/

アクセス つくばエクスプレス『三郷中央駅』より徒歩8分。

病院の概要

- 病床数 395 床
- 医師数 76 名 (うち指導医数 30 名)
- 診療科 内科、神経内科、循環器内科、心療内科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、麻酔科、腎センター
- 1 日平均外来患者数 1220.7 名
- 1 日平均入院患者数 273 名
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 1 名
- 研修医の主な出身大学 慶應義塾大学、信州大学、群馬大学
- 主な認定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本輸血細胞治療学会 I&A 認定施設、日本内科学会、日本外科学会、日本小児科学会、日本産科婦人科学会 他



研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、臨床医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としている。1 年次の内科では呼吸器・循環器・膠原病、消化器、神経内科、内分泌・代謝・血液の内科 4 病棟をローテートし、す

べての内科疾患を経験する。各病棟では、それぞれの専門医、指導医に指導を受け、最新の知識を学ぶ。外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医、指導医がいる。手術数が多いので、毎日手術に入ることも可能。麻酔科では、気管挿管などの手技や全身管理を学び、知識と技術のある程度身につけたうえで救急を行う。

●スケジュール例 (埼玉メディカルセンター臨床研修プログラム)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						救急	選択				
2 年目	地域医療	救急	選択				救急	選択				

小児科、産婦人科、神経科、地域医療だが、小児科では、小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積める。また、地域医療は、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになってきている。選択期間も比較的長く、進路に合わせて研修

科を選択できる。

3 年次以降の進路が決定している研修医には、専門医取得に必要な学会発表の機会もつくり、後期研修に継続性を持たせている。

研修医の処遇

- 給与：約 35 万円／月
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 宿舍：なし
- 諸手当：通勤手当、当直料あり
- 当直：あり (2 回／月)

メッセージ

当院の特徴

埼玉メディカルセンターは、政令指定都市「さいたま市」の中核病院として、395床を有する急性期医療中心の病院です。一方、健診業務を行う健康管理センター、ならびに老人保健施設も併設しており、予防から介護まで幅広く行う施設として地域に貢献しております。

1978年に、当時の厚生省が臨床研修病院の指定基準を定めました。そのときから、当院はその基準を満たし臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育にたずさわってきました。また、37の学会などの施設認定を取得しており認定医、専門医をめざす医師たちを支えています。そして、良い研修病院とはどういう病院なのだろう？と、常に指導医が自問し、臨床研修委員会で検討しております。臨床の場では、技術、知識、態度が重要な要素ですが、シミュレーション・キットによる技術の修得、抄読会、CPC、カンファレンスへの参加、また指導医によるマンツーマンの教育など、より良い研修をめざしています。

初代院長の「和の精神」をモットーに、職員一丸となったチーム医療で、良質な、安心、安全で、患者さん中心の医療が当院の目標です。

研修責任者から



副院長

吉田 武史

卒後研修の2年間に皆様は医師としての基本的な診察能力、検査や治療の基礎的な技術、救急への対応などのプライマリ・ケアの能力を身につけるだけでなく、医師としての人格を涵養しなければなりません。当院は37の学会の認定教育施設として、高いレベルの医療を提供してまいります。患者数が多いのでさまざまな症例を経験できるだけでなく、あらゆる診療科で専門医の指導が受けられます。検査や治療の手法も自ら行うことができますから、さまざまな技術を身につけられます。また、研修期間中に学会で症例報告をしております。これによって、自らの能力を高める方法を取ることができると思います。意欲ある皆様をお待ちしています。

先輩研修医から



研修医1年目

久保 馨彦

北浦和駅から徒歩3分、新しい病棟でアットホームな研修はいかがですか？自由な研修プログラムで、ストレスなく密な研修が可能です。研修医、指導医の垣根なくいつでも議論しています！基本手技はもちろん、医師として大切な思考過程を身につけられると思います。是非1度当院に見学においでください♪

連絡先

CONTACT

独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 埼玉メディカルセンター

総務企画課
山根 文晶

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 4-9-3

TEL 048-832-4951(代表)

FAX 048-833-7527

E-mail main@saitama.jcho.go.jp

URL http://saitama.jcho.go.jp

アクセス J R 京浜東北線北浦和駅徒歩3分

16

さいたま市立病院

病院の概要

- 病床数 567 床
- 医師数 132 名（後期研修医 21 名、初期研修医 20 名含む）
（うち指導医数 33 名）
- 診療科 内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科
- 1 日平均外来患者数 1043.6 名 ● 1 日平均入院患者数 443.6 名
- 研修医数 1 年目 9 名 2 年目 11 名
- 研修医の主な出身大学 近畿大学、慶應義塾大学、埼玉医科大学、昭和大学、東京医科大学、東邦大学、獨協医科大学、日本医科大学、日本大学、浜松医科大学、福岡大学、三重大学
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育病院、日本救急医学会認定救急科専門医指定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本産婦人科学会認定専攻医指導施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院 他



研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間 6000 台以上の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得するためのプログラムを柔軟に設けています。1 年次には、内科（6 ヶ月）、

外科（3 ヶ月）、小児科（1 ヶ月）、救急科（2 ヶ月）をローテートし、2 年次は各自の希望に合わせた選択期間を中心に地域医療などをローテートします。研修医セミナーも毎週開催しており、知識の整理や症例検討を行っています。また、2 年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。

●スケジュール例（さいたま市立病院初期臨床研修プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						外科			救急科	小児科	
2 年目	救急科	地域医療	精神科	選択科目（9.5 か月）								

* 上記は平成 27 年 4 月開始の研修プログラムのスケジュール例です。

内科は消化器内科、呼吸器内科、腎・内分泌代謝・血液・膠原病内科、循環器内科のすべてをローテートします。外科のうち 1 か月は外科、2 か月は脳神経外科をローテート

します。神経内科は脳神経外科と一緒にローテートします。

地域医療は 1 か月の中でさくらそう病棟、さいたま市浦和休日急患診療所、医療法人明医研ハーモニークリニックで行います。

精神科は埼玉県立精神医療センターで行います。

研修医の処遇

- 給与：1 年目 33 万円／月 2 年目 35 万円／月
- 諸手当：当直手当 1 万円／回
- 当直：あり（4 回／月）
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 宿舎：なし

メッセージ

当院の特徴

人口126万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで、幅広い医療サービスを提供しており、コモンディジーズから学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般消化器外科、血管外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。

研修責任者から



臨床研修委員長／
院長補佐兼外科部長

山藤 和夫

当院の特徴は救急医療を重視していること、急性期病院であること、がん診療連携拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急車受入れ台数は年間6000台以上で、さいたま市内で一二を争う数を受け入れており、その多くは一次および二次救急の患者さんです。このように、当院はcommon diseaseの経験や、primary careにおけるminimum requirementの習得に適した環境です。また、初期臨床研修で最も重要な内科は循環器、呼吸器、消化器、神経内科など各部門が充実しており、若手医師の教育に熱心な指導医が多数います。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積み、医師としての基礎的診療能力や基本的姿勢、態度を身につけることができます。これまでの初期臨床研修の経験から、研修医が病院を活性化し、病院の診療能力をも向上させることを多くの病院職員が認識しており、研修医は病院の大切な一員となっています。医学生の方皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修を受けてみませんか。

先輩研修医から



研修医2年目

菊池 雅之

皆さん、こんにちは。初期研修医2年の菊池雅之と申します。
マッチングを控えた皆さんの中には、どこの病院で研修するかお悩みの方も多いでしょう。当院の特徴は、さいたま市の中核病院のため多くの疾患を経験できる、診療科が揃っていて幅広く学べる、取得可能な手技が多い、など列挙すれば限がないです。しかし、個人によって研修する基準は様々だと思いますし、このような条件の病院は他にもたくさんあるため、当院を勧める主たる理由にはなりません。

私がさいたま市立病院での研修を勧める最大の理由は、ズバリ「人」です。知識もない、手技もできないピヨピヨしている私の下らない質問に答えてくださり、優しく、時に厳しく接してくださる指導医、看護師、他メディカルスタッフの方々とお会いすることが何よりもよかったです。こんな人になりたいな、と思える方々にこの2年間でたくさん出会えたことが本当に幸せです。結果的にモチベーションを高く保つことができ、先輩方に一歩でも近づけるよう日々奮闘しています。

環境は上記のとおり、十分に揃っています。あとは自主性を持って取り組みれば、充実した楽しい研修医生活を送れると思います。まずは一度見学に来てください！

連絡先

CONTACT

さいたま市立病院

庶務課 橋本 祥希

〒336-8522 さいたま市緑区三室2460

TEL 048-873-4217 (直通) FAX 048-873-5451

E-mail hsp-jimukyoku-shomu@city.saitama.lg.jp

URL <http://saitama-city-hsp.jp/>

アクセス ● JR 湘南新宿ライン・京浜東北線・高崎線・東北本線(宇都宮線) 浦和駅 東口から国際興業バス「南台行」で「市立病院」下車 ● JR 京浜東北線 北浦和駅 東口バスターミナルから東武バス「市立病院行」で終点下車 ● JR 湘南新宿ライン・京浜東北線・高崎線・東北本線(宇都宮線) 浦和駅 西口から東武バス北浦和経由「市立病院行」で終点下車 ● JR 武蔵野線 東浦和駅から国際興業バス「馬場折返し場行」で終点下車 ● JR 京浜東北線・高崎線・東北本線(宇都宮線) さいたま新都心駅 東口から東武バス「市立病院行」で終点下車

17

さいたま赤十字病院

病院の概要

- 病床数 605 床
- 医師数 162 名（うち指導医数 24 名）
- 診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ科、腎臓内科、神経内科、精神科、循環器科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、形成外科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、病理診断科
- 1日平均外来患者数 1424.1 名
- 1日平均入院患者数 551.4 名
- 研修医数 1年目 10名 2年目 10名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学、福島県立医科大学、自治医科大学、東京医科大学、東京慈恵会医科大学、新潟大学、東京大学、埼玉医科大学、昭和大学、群馬大学、山形大学、岩手医科大学、日本大学、産業医科大学、横浜市立大学
- 主な認定施設 救命救急センター、災害拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、埼玉 DMAT 指定病院、医療機能評価機構認定 他



新病院 完成予想図

研修プログラムの特色

平成 22 年度から研修医制度の一部見直しが図られ、必須科目が一部削減されましたが、臨床研修の基本理念を重視し、厚生労働省の到達目標を達成するために、従来の必須科目をすべて含むプログラムです。

- 救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- 選択研修期間については 8 か月あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って選択科目、期間を決めることが可能です。

●スケジュール例（さいたま赤十字病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急		
2年目	小児科	産婦人科	地域医療	精神保健	自由選択							

*内科 6 か月、外科 3 か月、救急 3 か月、産婦人科 1 か月、小児科 1 か月、地域医療 1 か月、精神・保健 1 か月必修、自由選択 8 か月（消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、

精神科、神経内科、循環器科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急部、放射線診断科、検査部、病理部）

研修医の処遇

- 給与：1年次 25万円/月 2年次 30万円/月、賞与（1年次 5万円、2年次 20万円）
- 諸手当：住宅手当、当直手当（日直 1万 5千円/回、当直 1万 8千円/回）
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険あり
- 当直：あり（4回/月）
- 宿舍：なし

メッセージ

当院の特徴

さいたま赤十字病院は、地域の基幹病院として急性期医療を担っています。3次救命救急センターを併設し、一方で地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院にも認定されており、非常に多く、かつ多様な症例が集まるのが特徴です。研修医同士や上級医とも距離が近く、充実した研修が期待できます。

研修責任者から



総合臨床内科部長
高屋 俊樹

さいたま赤十字病院は、地域の基幹病院として急性期医療を担っています。3次救命救急センターを併設し、一方で地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院にも認定されて

おり、非常に多くのまた多様な症例が集まるのが特徴です。

臨床と教育が直接結びついており、多くの患者に直接関わることにより研修を積んでもらうことを目指しています。プログラムは平成22年度以前からの必須科目をすべて必修とする一方で、8か月の選択期間は自由度が高くなっています。そこで自主性と高い目的意識をもった研修医を求めています。また、研修医のチームワークが良いことも特徴かと思えます。

先輩研修医から



研修医2年目
松山 桃子

さいたま赤十字病院での研修の魅力の一つとして、研修医がとても仲が良いということが挙げられます。現在研修医は20人いますが、辛いことも楽しいこともすべてを共有できる大切な仲間です。研修医室では、悩んでいる症例や珍しい症例を共有し検討することが日々自然と行われています。また、皆志が高く、各々の

目標に向かい努力を惜しまない人ばかりで、一緒にいてとても刺激を受けます。

さいたま赤十字病院は地域の基幹病院であり、救急診療を行っているため、日常業務は忙しい時もありますが、その分多くの症例を学ぶことができます。また自由度が高く、選択期間も8か月と長く設けられています。当直も自分のペースに合わせて回数を増やすこともできるので、勉強時間やプライベートの時間も十分とることができます。充実した研修生活を送ることができると思います。

ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております！

連絡先

CONTACT

さいたま赤十字病院

〒338-8553 さいたま市中央区上落合 8-3-33

TEL 048-852-1196 (直通)

FAX 048-852-3120

E-mail jrc.sh-jinji@jcom.home.ne.jp

URL <http://www.saitama-med.jrc.or.jp>

アクセス JR 線大宮駅から徒歩 10 分

人事課
眞下・倉田

病院の概要

- 病床数 317床
- 医師数 60名 (うち指導医数40名)
- 診療科 救急科、総合内科、総合診療科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形・形成外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、健康管理科、歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 730名
- 1日平均入院患者数 285名
- 研修医数 1年目 3名 2年目 2名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、杏林大学、金沢医科大学、徳島大学、秋田大学、山梨大学、東海大学、福井大学
- 主な認定施設 日本外科学会専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設 他



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としています。

厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間での間に達成できることを第一の目的としてい

ます。

専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われていいます。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。

●スケジュール例 (東大宮総合病院初期臨床研修プログラム)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	必修		必修		必修		選択必修		必修		当院必修	
1年目	総合内科		消化器		循環器		外科		救急		放射線科	
	必修	必修	選択必修	必修	選択必修	当院必修	当院必修	自由選択期間				
2年目	地域医療	総合内科(外来)	精神科	救急	麻酔科	整形	泌尿器	自由選択(4ヶ月)				

研修医の処遇

- 給与：1年 45万円/月 2年 50万円/月 ●諸手当：当直手当 1年 1万5千円 2年 2万5千円
- 保険：社会保険、厚生年金保険、埼玉県医師会厚生年金基金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 当直：あり(4回/月) ●宿舎：借り上げ宿舎
- その他：学会・研修会等参加の費用負担あり(8万円/年) 3回/年(公休扱い)

メッセージ

当院の特徴

平成 27 年 7 月に、当院は新築移転となります。病院名も「彩の国東大宮メディカルセンター」に改名になります。20 床増床の 337 床になり、いままで以上に急性期対応型に進化した新病院がオープンします。新病院では地域の要望を取り入れ、これまでなかった I C U 病床 (8 床)、緩和ケア病棟 (22 床) が新規に立ち上がります。そして、救急室は初療室を 4 室、安静用ベッドを 9 床設置し、今まで以上の救急受入れ体制を整えます。さらにはがん診療指定病院として、がんサロンの開設、放射線治療装置 (リニアック) の導入など、がん治療の拡大も計画されています。

当院では、指導医の教育にも力を入れており、臨床経験 7 年目以上の常勤医の 9 割以上が指導医です。そのため指導医からのマンツーマン教育が可能になっています。



研修責任者から



臨床研修センター長
風間 博正

臨床研修センターの役割は、研修内容の充実と研修環境の改善を図ることで、研修医の皆さんが臨床研修の目標を達成できるように、後方から支援しています。

そのため研修医の皆さんが、前向きに研修に励んでいるかなど、一人ひとりのメンタル面にも配慮しています。

また社会人としての常識やチーム医療に必要なコミュニケーション力など、医療面以外で大切なことを教育するのも、大切な役割の 1 つです。

今後の目標は、業務終了後などの研修医勉強会を、さらに充実させたいと考えています。現場だけでなく、OFF-JT で学ぶ機会も充実させ、研修医同士、切磋琢磨して、頑張ってもらっています。日々の研修では、大変なことや辛いこともたくさんあると思います。

そんな時に、仲間と、お互い励まし合い、支え合い、高め合いながら、医師としての礎を作っていたいただけたらと願っています。一緒に充実した研修生活を送れるように頑張りましょう。

先輩研修医から



研修医 2 年目
熊谷 知幸

入職し、はじめの 3 ヶ月は、私はまず総合内科で研修をすることになりました。

総合内科では、肺炎から膠原病、癌まで市中病院だからこそ経験できる幅広い疾患を学ぶことができました。先生方からは、「なんとなく」や「とりあえず」ですます医療ではなく、確かな根拠に基づいた医療を指導して頂きました。

現在は、消化器内科をローテートしています。内視鏡指導医のもと、上部消化管内視鏡検査の一般的なスクリーニング検査をひとりですることが、まずは最初の目標です。そして下部消化管内視鏡検査も少しずつ経験しはじめています。

この病院はやる気さえあれば、どんどん手技もやらせてくれるため、積極的に「やりたい」と手をあげて、色々と経験をさせてもらっています。

まだまだ知識や経験も少なく、焦る場面も多々あります。日々勉強の毎日ですが、週末に同期と食事をするなど、ストレスも適度に発散しながら、楽しい研修医生活を送っています。

連絡先

CONTACT

医療法人社団協友会 東大宮総合病院

臨床研修センター
水元 美枝

〒 337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5 - 1 8

TEL 048-684-7111 (代表)

FAX 048-686-3614

E-mail kenshui@higashiomiya.or.jp

URL http://www.higashiomiya.or.jp/

アクセス 東大宮駅より徒歩 3 分 (移転後は、土呂駅より徒歩 13 分)

病院の概要

- 病床数 724床
- 医師数 177名（うち指導医数56名）
- 診療科 内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、気管食道外科、肛門外科、内視鏡外科、小児外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、眼科、形成外科、美容外科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 1503.8名
- 1日平均入院患者数 551.4名
- 研修医数 1年目 15名 2年目 13名
- 研修医の主な出身大学 弘前大学、福島県立医科大学、群馬大学、埼玉医科大学、帝京大学、日本大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、鹿児島大学 等
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、医療被ばく低減施設、日本内科学会認定医教育病院、日本整形外科学会認定医研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設 他



研修プログラムの特色

自分の将来への展望を踏まえ、8ヶ月の選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上組むことができる。市中病院にあって豊富な診療科を有する当院の特徴を生かしてもらいたい。救急科研修（夜間救急を含む）・総合診療科研修・地域医療研修を3本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・

小児科を必修科目としている。地域医療研修を沖縄・北海道などの離島・へき地で行い、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンスとなる。

●スケジュール例（上尾中央総合病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系7科（内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科）から2科以上選択 ※総合診療科は3ヶ月間必修						救急部門			麻酔科		外科
2年目	外科	小児科	産婦人科	地域医療	選択期間							

必修：内科系6ヶ月、救急科3ヶ月、麻酔科2ヶ月、外科2ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1か月

選択：8ヶ月（内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、

眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、精神科、地域研修）

※地域研修は必修1ヶ月、選択1ヶ月まで（合計2ヶ月選択可能）

※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する

研修医の処遇

- 給与：約40万円/月（1年次）
- 諸手当：当直手当、日勤手当、年末年始勤務手当、学会手当、住宅手当
- 保険：埼玉県医師会健康保険組合・厚生年金保険・雇用保険・労災保険加入。
- 当直：あり（6回/月）
- 宿舍：当院規定により補助有。
- その他：療養還付金制度有。学会、研究会等への参加の際には年3日まで勤務扱いとする。

メッセージ

当院の特徴

二次医療圏人口 50 万人の健康を支えるべく 40 診療科を揃え、さらに救急体制の充実を図っています。昨年 6 月には新病棟が完成し病床数は 724 床となり、専用の CT 室を備えた 945㎡の救急室や 16 床の ICU、そして手術室 15 室が稼働しています。ここ 10 年で常勤医師数は倍増（90 ⇒ 180 名）し、研修医数マッチング数は県内一般病院では最多（2015 年度 16 名）となりました。地域医療を担う急性期病院として、その地位を確固たるものにすべく努力し続ける伸び盛りの病院です。



研修責任者から



臨床研修委員会
委員長

黒沢 祥浩

「医師」とはこういう職業なのだという身をもちて体験し、それを生涯の財産とすることができます。当院の研修医は間違いなく地域住民の生命を守る担い手です。彼らの主たる研修科である救急科および夜間当直では、ホットラインの電話を受け、初期診療を行い、さらに上級医へ適切にコンサルトしていく、このすべての場面で研修医が主役です。忙しくて眠れなくて…つらい夜も少なくないと思いますが、どんな場面においても冷静にかつ的確に判断できる自分になれることを約束します。

病院全体で研修医を育てています。臨床研修委員会および臨床研修指導者委員会には指導医のみならず、看護師、薬剤師、放射線技師なども委員として名を連ね、研修プログラム全体の、さらに研修医個人個人について話し合い、よりよい研修が遂行できるように工夫を重ねています。

努力すれば努力しただけの成果があげられる、それに応え、それを支える指導者がいる、そんな研修病院です。

先輩研修医から



研修医 1 年目

根井 雅

私は部活動・飲み会・合コン・ナンパに忙しい、九州ではまともで優秀な学生でした。

知り合いに誘われ、そしてホームページの美人先輩研修医に惹かれて救急科の見学に来た私が、まず驚いたのは病院の大きさです。さらに驚いたのは全ての救急車のファーストタッチから各専門科へのコンサルトまでを研修医が行っていたことです。この病院で 2 年間頑張ったら、本当の意味でまともな医者になれるのではと思

い、生まれ育った九州から飛び立つ決意をしました。

研修は生活リズムを直すことから始まりました。毎日の出勤に慣れるのに 1 ヶ月近くかかりました。また救急科の当直が 4 月初旬から始まり、わからないことばかりで、上級医は厳しく、看護師さんも怖く、当直の度に 1 つずつ口内炎が増えていきました。

それでも続けられたのは同期のおかげです。愚痴を言い合ったり、飲んだり、一緒に勉強をしたり、励まし合ってきたからだとしみじみ感じます。2 年目の先輩方もアドバイスや手助けをしてくれました。

それでも半年経つ頃には慣れて、怖かった看護師さんとはチームの一員として切磋琢磨できる関係になれたと感じています。また、厳しい上級医から褒められたり、認められた時の喜びは、他では味わえない充実感だと思います。

研修病院の選択は、迷うことばかりです。きっかけは不純ですが、見学時に研修システムや指導に力を入れていることを知ったのが、私にとって決め手になりました。ここでは伝えきれないことがたくさんあります。是非、研修医の生活を見に来てください。私は初夏の奄美大島へ地域研修に行ってきます（笑）

連絡先

CONTACT

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

臨床研修事務
片山

〒 362-8588 埼玉県上尾市柏座 1-10-10

TEL 048-773-1111 (代表)

FAX 048-773-7122

E-mail ishi_jinji@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp/

アクセス JR 高崎線上尾駅西口から徒歩 3 分

病院の概要

- 病床数 302 床
- 医師数 34 名（うち指導医数 14 名）
- 診療科 内科、循環器科、精神科、神経科、外科、消化器科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科
- 1 日平均外来患者数 613.3 名
- 1 日平均入院患者数 266.8 名
- 研修医数 1 年目 0 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 宮崎大学、日本医科大学
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院 他



研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1 年目は内科、外科、救急医療の研修にて基礎力を磨き、2 年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能

となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

●スケジュール例（小川赤十字病院医師臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急医療		
2年目	選択必修ないし選択					地域医療	選択必修ないし選択					

研修医の処遇

- 給与：1 年次 約 440 万円／年 2 年次 約 510 万円／年
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（4 回／月）
- 宿舎：なし

メッセージ

当院の特徴

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。

昭和14年に開設されて以来、75年を超える歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。

また、赤十字病院として、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。

研修責任者から



副院長

竹ノ谷正徳

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはずです。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望に沿うことができます。また救急医療は埼玉医科大学病院での3次救急の研修を経験できます。平成28年には病棟の建て替えが完了し、アメニティの向上を図ります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学においでください。

先輩研修医から

協力型研修医2年目
(深谷日赤研修医)

小川 真彦

私は深谷赤十字病院で研修を行っておりますが、精神科の独立した病棟がないため、精神科病棟を持つ小川赤十字病院で、精神科の研修を2か月間行いました。

当院の精神科は病床が50床あり、症例も豊富であり、統合失調症、双極性障害など様々な精神疾患を経験できます。精神科の研修指導医の先生は2名おり、懇切丁寧に指導していただきます。例えば、

初診の患者さんの予診をとった後に先生と、診断、鑑別疾患、治療方針などについて議論し、指導を受けることによって、より理解が深まっていきました。また病院のスタッフの方も親切で、気軽に何でも聞ける雰囲気があり、とても働きやすい環境だと思います。

当院は埼玉県西部の中核を担う公的総合病院であり、コンサルテーション・リエゾンも積極的に行っており、他科の医療チームと共同で治療を行うことも経験できます。

精神科に限らず、他の診療科でも熱心な指導医の先生が大勢いらっしゃいますので、ぜひ一度見学にいらしてみてください。

連絡先

CONTACT

小川赤十字病院

〒355-0397 比企郡小川町小川 1525

TEL 0493-72-2333 (代表)

FAX 0493-72-2755

E-mail info@ogawa.jrc.or.jp

URL http://www.ogawa.jrc.or.jp

アクセス 東武東上線・JR八高線 小川町駅 徒歩15分

総務課
藤田

病院の概要

- 病床数 229 床
- 医師数 25 名（うち指導医数 8 名）
- 診療科 内科、外科、整形外科、循環器科、リウマチ科、消化器科、神経内科、呼吸器科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、脳神経外科、アレルギー科、リハビリテーション科、放射線科
- 1 日平均外来患者数 420.4 名
- 1 日平均入院患者数 184.6 名
- 研修医数 1 年目 2 名 2 年目 2 名
- 研修医の主な出身大学 北里大学、鹿児島大学、徳島大学、東京医科大学、信州大学、佐賀大学、日本医科大学、埼玉医科大学、昭和大学、大阪医科大学、筑波大学
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本透析医学会教育関連施設 等



研修プログラムの特色

昭和 49 年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐にわたります。関越病院の理念と方針の下、1 次・2 次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。

このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・

ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方法は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

●スケジュール例（関越病院 医師臨床研修プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						救急	小児科	産婦人科	精神科	外科	
2 年目	外科	地域医療	選択科									

※救急部門は原則 1 年次に 3 ヶ月以上が必修となっております。当院では 1 ヶ月間集中的に研修を行い、残りの 2 ヶ月分は月 4 回の夜間救急外来研修を行うことで必修期間の補

完となります。

※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各 1 ヶ月研修します。

※地域医療研修は 1.5 ヶ月、選択科は 9.5 ヶ月となります。

研修医の処遇

- 給与：1 年次 40 万円(税込)／月 2 年次 45 万円(税込)／月、賞与あり
- 諸手当：当直・日直手当、食事手当あり
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（4～5 回／月）
- 宿舎：あり（病院より半径 2km 以内）

メッセージ

当院の特徴

当院は昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた埼玉県鶴ヶ島市にある急性期病院です。診療する疾患は多岐にわたります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わず行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。



研修責任者から



副院長兼診療部長

内田 昌嗣

皆さんそれぞれ得意・不得意、理解できる・できないがあると思います。当院の指導は横並びではなく、研修医それぞれに指導医が工夫を凝らしています。わからないままでは終わらせません。また、病院内の人間関係も気になるころだと思えます。アットホームな雰囲気、医師や看護師も含めた病院職員の間関係の良さは、言葉にしてもなかなか伝わるものではございません。さらに、研修医の普段の様子なども気になる点かと思えます。当院の病院見学ではこれらすべてを見て、聞いて、感じてもらって、最後には納得してもらえようスケジュールを組んでおります。「百聞は一見に如かず」是非一度ご来院ください。お待ちしております。

先輩研修医から



1年目研修医

医師として社会人として、そして医療スタッフの一員として『見られる』という立場になりました。医師としては勿論のこと、社会人としても大変多くの未熟さを抱えたままに関越病院での研修をスタートしました。私としては、

- ①多くのスタッフの方々と協力し合うことで医療は成り立つということ
- ②研修医として己の未熟さを自覚すること
- ③そして願わくは、この地域の医療に少しでも貢献できるようにすること。これらを常に念頭におき、日々多くの患者さんと向き合い、またアットホームな雰囲気の中で諸先輩方や医療スタッフの方々に常に支えてもらっています。

連絡先

CONTACT

社会医療法人社団 新都市医療研究会(関越)会 関越病院

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 145 - 1

TEL 049-287-3727 (直通)

FAX 049-271-2370

E-mail jinji@kan-etsu-hospital.or.jp

URL <http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/>

アクセス 東武東上線坂戸駅下車 南口より徒歩 13分

法人事務局 人事課 臨床研修担当

病院の概要

- 病床数 325 床
- 医師数 41 名（うち指導医数 11 名）
- 診療科 内科、消化器科、循環器科、神経内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科、リハビリテーション科
- 1 日平均外来患者数 404.1 名
- 1 日平均入院患者数 172 名
- 研修医数 1 年目 0 名 2 年目 1 名
- 研修医の主な出身大学 産業医科大学、岡山大学、東北大学、旭川医科大学、日本大学
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設 他



研修プログラムの特色

中規模病院での少人数での研修であるため、一般疾患、手技を多数経験でき、また各個人のニーズに応じたきめ細やかな対応が可能です。一通りの分野、設備が整っている一方、

院内の横の連携は密で充実した研修をすることができます。指導医は面倒見が良く、臨床研修担当医を配置しています。

●スケジュール例（西埼玉臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急 (麻酔科)	選択必修 (外科、産婦人科、小児科、精神科)				
	救急（当直）											
2年目	地域 医療	選択										
	救急（当直）											

内科 6 ヶ月、選択必修科 5 ヶ月（外科、産婦人科、小児科、精神科）、地域医療 1 ヶ月は必修。

研修医の処遇

- 給与：約 37 万円／月、賞与なし
- 諸手当：通勤手当
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（4 回／月）
- 宿舎：あり

メッセージ

当院の特徴

病棟は明るい雰囲気です。研修しやすい環境で、地域の中核的な急性期型病院です。がん、成育医療、内分泌、代謝疾患等の政策医療の推進施設であり、病棟からの景観も良く、自然に囲まれた環境の良い病院です。

研修責任者から



副院長

小野寺達之

当院の初期・後期研修プログラムは、医師としての知識、経験を積むことと同時に医療人としての基本姿勢、心構えを修得することを目標としています。研修医教育を積極的に進めており、研修

スケジュールに従い2年間充実した温かい研修を受けることができます。病院内の池には、カルガモが泳ぎ、緑色に囲まれた環境でありながら、東京に近く都内での学会、研修への参加も容易です。是非、我々と共に働きませんか。

先輩研修医から

平成25年度臨床
研修修了

三村 暢子

西埼玉中央病院での研修は自由で、大部分が自主性に任せられています。逆のことを言えば、自分から行動しないと何も始まりません。ただ、自分で考え、自ら学んでいこうとすれば、得られるものも多いです。また、研修

医の数が少ないためか上級医やコメディカルの方々がとても気にかけてくださり、気軽に相談できるため、とても働きやすい環境です。研修の2年間はあっという間ですが、これからの医師像を決める重要な時期でもあるので、皆さんも自分にあった研修病院を見つけてください。

連絡先

CONTACT

独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院

事務部管理課庶務係
渡辺 秀張

〒359-1151 所沢市若狭2-1671

TEL 04-2948-1111 (代表)

FAX 04-2948-1121

E-mail watanabeh@wsh.hosp.go.jp

URL <http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/>

アクセス 西武線小手指駅から徒歩20分

病院の概要

- 病床数 349 床
- 医師数 96 名（うち指導医数 30 名）
- 診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、感染症内科、人工透析内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺内分泌外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科
- 1日平均外来患者数 1320 名
- 1日平均入院患者数 335 名
- 研修医数 1年目 6名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学、信州大学、産業医科大学、東京慈恵会医科大学、高知大学、東京医科大学、東海大学、帝京大学、北里大学、杏林大学、熊本大学、岡山大学、昭和大学、川崎医科大学 等
- 主な認定施設 <施設認定>地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設、開放型病院
<医師研修施設認定>日本内科学会認定医教育病院、日本外科学会、日本救急医学会 他



研修プログラムの特色

将来、プライマリケアに対処しうる第一線の臨床医、あるいは高度の専門医のいずれを目指すにも必要な診療に関する基本的な知識・技能及び態度の習得のための2年間のプログラム。

1年目は、プライマリケア、救急医療などの基本研修のために内科6ヶ月、外科・麻酔科（ICUを含む）、を3ヶ月ずつローテイトする。2年目は内科3ヶ月小児科2ヶ月（選

択）・精神科・産婦人科・地域医療を各々1ヶ月ずつ行い、4～6ヶ月は研修医の希望や各科、各病院（従病院）と話し合い選択科の研修を実施。救急は2年間を通して救急外来（当直を含む）の研修が随時行われ（内科系・外科系・小児）、指導医とともに診療を行い、救急疾患の初期診療と初期治療を研修し、基本的な手技を獲得する。（小児科・産婦人科・精神科は協力病院での研修）

●スケジュール例（埼玉石心会病院プログラムA）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			麻酔科		
2年目	産婦人科	精神科	地域医療	小児科	内科		選択					

*内科8ヶ月、外科3ヶ月、麻酔3ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療1ヶ月、小児科2ヶ月必修、自由

選択5ヶ月
*救急研修は随時研修を行う。

研修医の処遇

- 給与：約40万円/月
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 宿舎：あり
- 諸手当：通勤手当、当直手当あり
- 当直：あり（4回/月）
- その他：家賃補助制度あり

メッセージ

当院の特徴

埼玉石心会病院は高度急性期医療を提供する設備とスタッフを備え、埼玉県西部地区において中核を成している。特に心カテーテル治療の件数は3年連続で1,000件を突破(2012～2014年)国内トップクラスの実績である。地域のニーズに応えるべく年間7,000台に迫る救急車の受け入れ、断らない救急医療の実践にも力を注いでいる。2017年11月には移転新築(450床)を予定している。



研修責任者から



プログラム責任者・
総合内科副部長

村田 健

初期研修とは「医者の基本」を徹底して学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と、頻繁に遭遇する Common disease に対する診療能力を身につけること」。当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を徹底して鍛えるための研修に力を注いでいます。一人一人の力量に応じて着実に成長していける研修を目指しており、最終的には研修医全員が同じレベルに到達するための工夫や、お互いに教え合い学び合う「シェアする文化」を大切にしています。ベッドサイド手技の件数は圧倒的に多いことも魅力の一つですが単に手技を身につけることを重視してはいません。Attitude (患者との接し方、問題解決の思考プロセス)・Skill (手技)・Knowledge (知識) のバランスが重要であり「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を目指しています。

先輩研修医から



研修医1年目

上田 悠理

あなたはどんな初期研修を希望しますか？私たちは「主体的に学び・行う初期研修」を実践しています。

①学習：毎週の勉強会は受講のみならず、講師としてプレゼンすることもあり、自分の学びを増やしていけます。手技が多いことも魅力の一つです。「したことがある」ではなく、「慣れている」と言える回数をこなすことができます。

②環境：医局はもちろん、コメディカルとの関係が良いことも重要です。科の垣根のないオープンな医局は、違う科の先生方にも疑問点を質問したり、アドバイスを受けたりすることが可能です。また、病棟の看護師さんから質問されることも多く、教えるために学ばなければ！と意欲アップにつながっていきます。

さあ、あなたはわたしたちに何を望みますか？ぜひ一度見学に来て、あなたの気持ちを教えてください。この病院の「魅力」を必ず見つけてもらえると嬉しいですよ！

連絡先

CONTACT

社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

事務部

若松 裕二

〒350-1323 埼玉県狭山市鶴ノ木 1-33

TEL 04-2953-0909 (直通)

FAX 04-2953-8040

E-mail yuji-wakamatsu@saitama-sekishinkai.org

URL http://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武池袋線稲荷山公園駅から徒歩約10分

病院の概要

- 病床数 504 床
- 医師数 44 名（うち指導医数 8 名）
- 診療科 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科
- 1 日平均外来患者数 610 名
- 1 日平均入院患者数 385 名
- 研修医数 1 年目 1 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 東北大学、埼玉医科大学、旭川医科大学、福井大学
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、病院機能評価認定病院、二次救急指定病院、日本 DMAT 隊員養成研修修了施設 他



研修プログラムの特色

医師としての人格を養成し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で繰り返し遭遇する病気・病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけます。

1 年次は基本的な臨床知識と技能の修得、2 年次は将来の専攻分野を視野に入れながら、科目を選択します。

◆ 全人的な診療能力を身につける

一般診療、急性期・救急医療を通じて、プライマリ・ケ

アを中心に幅の広い診療能力を身につけます。

◆ 少人数・実践方式

できる限り現場の医療に実践で取り組み、マンツーマンの指導を受けられます。

◆ 法人内他施設との連携

クリニック、老人保健施設など、法人内他施設と連携して研修内容を広め、法人全体で育成するというプログラムになっています。

● スケジュール例（標準プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						救急			選択必修科目		
2 年目	地域医療	選択科目										

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科をローテーションします。

※選択必修科目：外科・麻酔科・精神科・小児科・産婦人科より 2 科目

※選択科目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・救急・麻酔科の中から選択

※小児科・産婦人科は埼玉医科大学にて研修、精神科は済生会鴻巣病院にて研修を行う。

研修医の処遇

- 給与 1 年次：42 万円（税込）／月 年俸 504 万円（税込） 2 年次：50 万円（税込）／月 年俸 600 万円（税込）

※時間外手当、休日手当、当直（副直）手当を含む

- 保険：健康保険、労災保険、厚生年金保険、雇用保険
- 当直：あり（毎月 4～5 回（副直）） ● 宿舍：あり（家賃全額補助）
- その他：就業規則に定めるところによる

メッセージ

当院の特徴

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院として、地域医療の中核的役割を担っている病院です。他医療機関からの紹介患者様のさまざまな症例に対し高度医療を提供するため、豊富な症例を扱え、また、研修医の皆さんにも積極的に治療に参加していただきますので、基礎研修として多くの経験を積むことができます。

「地域完結型医療」「病診連携」「救急医療」を勉強したい方たちにふさわしい病院です。医局は特定の大学に関連しているのではなく、全国から40歳前後の若い先生が集まる医局です。若い先生の新しい知識と行動力を持って、日夜診療に取り組んでいます。

研修責任者から



副院長

小島 達自

私は医師になって36年が経ちます。「投資」という言葉は、金銭や時間を費やして、さらに有益なものを得るといことです。最近思うことは、投資に使われるお金や時間は、自分のものようでありながら、決して自分だけのものではないということです。時間やお金をかけて学会や研修会に行き、新しい知識を得たり、技術を磨いたりすることは、ひいては万人のためになることと信じていますし、また、医師はそれを期待されてもいます。皆さんは、これから研修医として医学の世界への新しい一歩を踏み出します。初心を忘れることなく、常に研鑽によって得られる対価は、自分や他人が喜ぶ顔を見ることです。これがいちばん大きな対価ではないでしょうか。いっしょに勉強が出来る日を心待ちにしています。

先輩研修医から



研修医1年目

徳永伸太郎

どれだけ手技を多く経験できるかどうかという点において、当院の研修は他の研修病院と比較しても抜き出ているのではないかと思います。上級医の指導の下、研修医の立場では普通はなかなか経験できないところまで積極的に参加することが可能です。こちらがやればやるほど、やらせてもらえる手技も高度なものになっていくため、とてもやりがいがあります。

また当院の研修でとても特徴的なことは、病院内をとても自由に研修できるという点です。現在研修中の科がどこであろうと、勉強になる症例・検査などがあれば他科であろうと積極的に呼ばれます。将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとってはこの病院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。自分の習得したい手技、経験したい診療科を重点的に経験させてもらえます。

やる気のある方、とことん手を動かしたい方は是非とも一度当院を見学に来てください！

連絡先

CONTACT

社会医療法人社幸会 行田総合病院

医師担当課

〒361-0056 埼玉県行田市持田 376

TEL 048-552-1111 (代表)

FAX 048-552-1116

E-mail pub_info@gyoda-hp.or.jp

URL http://gyoda-hp.or.jp

アクセス ● JR線行田駅よりタクシー5分またはバス10分
● 秩父鉄道行田市駅よりタクシー5分

病院の概要

- 病床数 311 床
- 医師数 34 名（うち指導医数 7 名）
- 診療科 内科、消化器科、循環器科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理診断科、口腔外科
- 1 日平均外来患者数 645.5 名
- 1 日平均入院患者数 236.4 名
- 研修医数 1 年目 2 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 筑波大学、熊本大学、高知大学、埼玉医科大学、弘前大学、琉球大学
- 主な認定施設 日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定麻酔指導病院研修施設、日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設、日本医療機能評価機構認定病院 他



研修プログラムの特色

高い倫理観と豊かな人間性、また常に科学的な妥当性や探究能力、それに社会発展に貢献する使命感と責任感を持った「全人的な医師」を育成することを研修の理念としています。研修プログラムは内科や救急、地域医療の必修科目以外にも外科や小児科、産婦人科、麻酔科、精神科等を研修するスー

パーローテート方式となっており、救急科の研修はローテート科と並行して 2 年間継続して行うことで、診療能力が格段に向上します。また、画一的なものでなく、個人の希望や特性に応じて柔軟に対応するためにオプションの研修科・期間を多めにとっています。

●スケジュール例（羽生総合病院臨床研修プログラム）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科			救急			外科	麻酔科	小児科	内科		
2 年目	産婦人科	地域医療		精神科	希望選択科							

- CPC は羽生総合病院で実施する。
- 救急の当直研修は月 8 回程度実施し、ローテート科と並行して 2 年間実施する。
- 内科研修期間の内、3 ヶ月程度循環器内科を研修する。

研修医の処遇

- 給与：約 45 万円／月
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舍：あり
- 諸手当：通勤手当、住宅手当あり
- 当直：あり（6～8 回／月）

メッセージ

当院の特徴

昭和 58 年に開院して以来、「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」の理念の下、地域に密着した医療活動に取り組み続け、現在では埼玉県北部の中核病院として広く認められています。当法人では病院の他に介護老人保健施設や訪問看護、訪問介護、グループホームなど医療から介護まで幅広い施設経営を行い、地域のトータルヘルスケアを担っています。

研修責任者から



研修委員長

木田 吉俊

医師の仕事とは「目の前にいる患者を評価し、マネジメントすること」であり、これができるようになる職業訓練の第一歩となるべきもの、それが初期研修であると考えています。医師としての最初の時期に論理的・科学的な考え方を習得する必要がある、自分の力で、個々の患者が抱える問題点を一つひとつ列挙し、それぞれの問題点をなるべく根拠に基づきつつ解決する訓練を行わなければなりません。当院は地域の基幹病院で精神科以外の診療科はほぼ有していますので、当院の研修プログラム上、初期研修のほとんどは当院で可能です。また、2次救急病院に指定されていますが、地域柄3次レベルのCPAや外傷患者が搬送されてくることも多々ありますので、初期研修の場に適していると思います。自主性のある積極的な諸君の参加を希望します。

先輩研修医から



初期研修 OB

松村 知憲

少数精鋭の羽生総合病院は研修医が2人で、多くの症例にめぐり合う機会は有り余るほどであった。研修現場で実際に患者さんに問題が生じた時などに自分で勉強したことはしっかりと記憶に残り、自分の知識となった。研修医の時はそのような経験の一つひとつ積み重ね、臨床力をつけていくことが大切なのではないかと思う。時間が空いた時など、救急外来をのぞいたり、内視鏡・超音波の検査を教えてもらったりと自分の好きなように融通のきくところが非常に良かったと思う。それと、大学から来ている非常勤の先生も多く、いろいろな人の意見や考えを聞いたことはとても新鮮で面白かった。

連絡先

CONTACT

埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院

総務課
勇・松岡

〒 348-8505 羽生市上岩瀬 551

TEL 048-562-3000 (代表)

FAX 048-563-2170

E-mail hanyuhp@fureaihosp.or.jp

URL http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/

アクセス 東武伊勢崎線羽生駅から徒歩 10 分

病院の概要

- 病床数 329 床
- 医師数 56 名（うち指導医数 27 名）
- 診療科 循環器内科、神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、整形外科、麻酔科、救急科
- 1 日平均外来患者数 690 名
- 1 日平均入院患者数 272 名
- 研修医数 1 年目 1 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 山梨大学、富山大学、愛媛大学、横浜市立大学、帝京大学
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院 他



研修プログラムの特色

〈理念〉

臨床医に求められる高い倫理性と思いやりの心を養い、“心温かい医師”を育てることを理念としています。

1. 救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて、「疾患ではなく患者さんを診る」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。
2. 質量とも揃った症例が豊富にあり、個々の症例を丹念に診断治療していく医療体制があります。
3. 研修医目線に立った指導を心がけることで、充実した臨床研修の場を提供します。
4. 研修医個人に合わせたオーダーメイドのプログラムで、意欲を持って取り組めます。

5. 全国に先駆けて医療秘書を導入、研修に集中できる環境が整っています。

〈基本目標〉

1. 医療全般において基本的診察能力（知識、技術、態度、判断力）を取得する。
2. プライマリ・ケア診療の基本を習得する。
3. 救急患者への対処を習得する。
4. 患者・家族へのインフォームド・コンセントを尊重した医療を習得する。
5. 末期患者への対処を習得する。
6. 生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。

●スケジュール例（済生会栗橋病院臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科						外科			救急	麻酔科
2年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療・保健			選択					

※内科は、循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・糖尿病内科・神経内科を6ヶ月、外科は、外科・脳神経外科・泌尿器科を3ヶ月

研修医の処遇

- 給与：約 30 万円／月 賞与（年 2 回）
- 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 給与：約 30 万円／月 賞与（年 2 回）
- 諸手当：日当直手当、通勤手当
- 当直：あり（3 回程度／月）
- 宿舎：あり

メッセージ

当院の特徴

- どの診療科の先生ともコンサルトしやすい環境にあり、看護師をはじめコメディカルの方々も非常に優しく働きやすい環境にあります。
- 地域の中核病院であるため、経験症例数も困ることもなく、頼んでおくとやりたい手技なども他の科の先生や看護師さんからの声かけもあり、色々経験できます。



研修責任者から

臨床研修管理委員会
委員長

白髪 宏司

臨床研修の特徴として、実践を重視していることが挙げられます。当院は急性期病院として誕生し、埼玉県北東部の医療を担う中核病院ですので、救急車の搬入も多く、処置や手技を豊富に経験できます。救急の現場で気管挿管ができるかどうかというのは初期研修の成果を図る物差しの一つですが、当院の研修医はほとんど全員がクリアしています。大学病院は大学病院ならではの症例に恵まれますが、一方で研修医が多く、初期研修1年目では大きな仕事ができにくい状況です。当院では研修医本人にやる気があり、きちんと準備できていれば中心静脈カテーテル、気胸ドレーン、気管支鏡などの高度な手技も経験することができます。

先輩研修医から



研修医1年目

森本 哲夫

栗橋病院を研修先として選んだのは、東京女子医大の関連病院ということで研修プログラムもしっかりしている印象を受けたこと、また見学に行った際にとっても働きやすい環境に思えたことが大きな理由です。また、すべての科を1か月単位で回る方式は短期間で網羅的に経験できるので、集中して学ぼうという意識にもつながって、メリハリもあって自分には合っていると思います。また、研修医向けのルーチンワークが少ないのも、この病院のいい点だと思います。いわゆる雑用的な業務が少なく、しかもマニュアルなどで縛られてもいないので、自由な気風があります。時間的な余裕を持ちながら、自分のペースで進めていけるのがよいと思います。

連絡先

CONTACT

済生会 栗橋病院

人事・総務課
横井 博

〒349-1105 久喜市小右衛門714-6

TEL 0480-52-3611 (代表)

FAX 0480-52-0954

E-mail saikuri@saikuri.org

URL http://www.saikuri.org

アクセス 東武日光線南栗橋駅から徒歩5分

病院の概要

- 病床数 310 床
- 医師数 32 名（うち指導医数 9 名）
- 診療科 内科、消化器内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 1 日平均外来患者数 480 名
- 1 日平均入院患者数 183 名
- 研修医数 1 年目 0 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 千葉大学、秋田大学、杏林大学、東京医科大学
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度審議会教育関連病院認定施設、日本外科学会外科専門医制度関連認定施設、日本脳神経外科学会専門医認定施設、日本整形外科学会認定施設、日本泌尿器科学会認定施設、日本麻酔科学会麻酔科認定施設 他 ※当院は千葉大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院になります。



研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。

また、医師としての基盤形成の時期である初期臨床研修時において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を養成することを目的としています。

●スケジュール例（熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急部門		選択必修科目		選択科目	
2年目	地域医療		選択科目									

救急部門：熊谷総合病院（2ヵ月間）及び久喜総合病院（1ヵ月間）
 選択必修科目：外科、麻酔科、小児科（熊谷総合病院及び深谷赤十字病院）、産婦人科（熊谷総合病院及び深谷赤十字病院）、精神科（北深谷病院）
 2科目以上を選択（最低1ヵ月以上とする）

選択科目：内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、眼科、放射線科、救急部門、地域医療・地域保健
 ※協力病院・施設での研修もあります。

研修医の処遇

- 給与：425,000 円 / 月（1 年次）・450,000 円 / 月（2 年次）、賞与あり
- 諸手当：通勤手当・家族手当・超過勤務手当・日当直手当あり
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（2 回程度 / 月）
- 宿舎：医師住宅あり（病院にて借り上げ、家賃の半額補助上限 6 万円まで）

メッセージ

当院の特徴

当院は1945年に開設され、長年にわたり医療活動を通じて地域貢献に努めてまいりましたが、設備の老朽化が進み2013年に救急棟、病棟（一部）が建てかえられました。高度医療への対応や救急医療へのニーズが高まる中、地域の皆様に信頼され選ばれる病院づくりをめざしています。

中規模の病院ですが、多くの症例を経験できる施設です。



研修責任者から



プログラム責任者
第1診療部長（内科）

齋藤 雅彦

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリー・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、コメディカルとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。

先輩研修医から

協力型研修医 OB

熊谷総合病院は埼玉県北に位置する人口20万人の都市にある二次救急指定病院です。2013年に新病棟が建て

られたばかりで、外来や手術室もとてもきれいで活気があります。中規模の病院ですが研修医が経験すべき一般的な疾患や手技を多く経験できますし、医局の雰囲気は温かな性格の先生が多く相談などもしやすいです。研修3ヶ月目くらいからは当直も行うようになり、最初のうちは上級医の先生と一緒に患者さんに対応することから始まり、慣れてくるとだんだんと一人で初期対応をやらせてくれるようになります。重要な場面では必ず上級医の先生が助けてくださるので、安心して研修を行うことができます。

医局は一人一つの机が与えられてインターネットもつながっており、病院が契約している医学中央雑誌などで論文の検索なども行えます。また医局には勉強会や講演会などの情報もたくさん入ってくるのでそれらに参加することもできます。

忙しいながらも日々の仕事の他に、内科地方会で症例発表や、受け持ち患者さんの病理解剖に立ち会うなど貴重な経験もさせていただきました。熊谷駅は新幹線の停車駅でもあり交通アクセスも良好です。ぜひ一度病院見学に来ていただき初期研修先の候補として考えていただければと思います。

連絡先

CONTACT

埼玉県厚生農業協同組合連合会 熊谷総合病院

事務部総務課
関口 哲也

〒360-8567 熊谷市中西4丁目5番1号

TEL 048-521-0065（代表）

FAX 048-523-5928

E-mail kumagayahp@kousei.st-ja.or.jp

URL http://www.kumasouhp.jp

アクセス JR高崎線・上越新幹線・秩父鉄道 熊谷駅北口から徒歩15分

病院の概要

- 病床数 506 床
- 医師数 87 名（うち指導医数 24 名）
- 診療科 内科、精神科、神経内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、緩和ケア外科、歯科口腔外科、病理診断科
- 1 日平均外来患者数 713 名
- 1 日平均入院患者数 383 名
- 研修医数 1 年目 8 名（うち協力型研修医 1 名）
2 年目 7 名
- 研修医の主な出身大学 全国各地の大学から
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院 他



研修プログラムの特色

埼玉北部の地域基幹病院として、周辺医療機関との地域医療連携に努めており、プライマリ・ケアをはじめとした様々な疾患を経験することで、基本的診療能力をより効率的に身につけられます。特長としては病床数に対し比較的少ない定員なので、各研修医が多くの症例に接し、密度の高い研修を受けられる点です。さらに少人数なので選択科

目なども個々の要望に応じた、融通性のあるプログラムが組める点です。また、2年間の研修において経験が不足しやすい必修項目については、一般病院の特色を生かし、ローテート以外の診療科の指導を適時受けられるシステムとして履修効率の向上を図っています。

●スケジュール例（深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外科		麻酔科	救急科		内科					非選択科	
2年目	希望選択科					地域医療	希望選択科					

1年次において救急・内科の必修科を経験し、選択必修5科目のうち、麻酔科・外科を経験する。2年次においては、地域医療の1ヶ月を除いた11ヶ月を希望する診療科で各自

選択する。

1年次において1ヶ月間非選択科として必修科以外の診療科を経験して到達目標をカバーする。

研修医の処遇

- 給与：1年次 35万円/月 賞与 10万円/年 2年次 40万円/月 賞与 30万円/年
- 諸手当：住居手当、通勤手当、日当直手当
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険…
- 当直：あり（4～5回程度/月） ● 宿舎：なし

メッセージ

当院の特徴

埼玉県北部の地域基幹病院として、周辺医療機関との地域医療連携に努めており、プライマリ・ケアをはじめとしたさまざまな疾患を経験することで、基本的診療能力をより効率的に研修医が身につけられます。特徴としては病床数に対して比較的少ない定員なので、各研修医が多くの症例に接し、指導医と研修医の1対1の指導体制により、密度の高い研修を受けられる点です。さらに少人数なので選択科目なども個々の研修医の要望に応じた、融通性のあるプログラムが組める点です。

研修責任者から



院長

伊藤 博

当院は、地域の基幹病院として高い専門性ととともに、様々な症例を有し、比較的少ない研修医ということで指導医との1対1の研修を行っております。研修医には実践してもらうことを原則にしてい

ますので、技術的 skill up が体感できるとともに、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば暖かみのある研修環境を目指しております。研修責任者が院長であることから研修医を病院全体でバックアップしております。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコ・メディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医から



研修医2年目

三村 健介

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人一人の意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長です。2年目に希望選択科を長く選ぶことができるので、将来希望する診療科が定まっている人でも、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人でも融通のきくプログラムです。当

院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができ、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接して下さり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！

連絡先

CONTACT

深谷赤十字病院

人事課
田口

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

TEL 048-571-1511 (代表) FAX 048-573-5351

E-mail jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL <http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

アクセス ●高崎線深谷駅から徒歩20分
●籠原駅から路線バス15分

病院の概要

- 病床数 723 床
- 医師数 307 名（うち指導医数 75 名）
- 診療科 糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、放射線科、外科、整形外科、心臓血管外科・呼吸器外科、小児外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、麻酔科、乳腺センター、病理診断科、臨床検査部
- 1日平均外来患者数 1621 名
- 1日平均入院患者数 652 名
- 研修医数 1年目 20 名 2年目 23 名
- 研修医の主な出身大学 岩手医科大学、聖マリアンナ医科大学、筑波大学、帝京大学、獨協医科大学
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉 DMAT 指定病院）、地域がん診療連携拠点病院 他



研修プログラムの特色

1. 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
2. 必修科目である内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、地域医療1ヶ月に加え、選択必修科目である外科1ヶ月、麻酔科2ヶ月、小児科1ヶ月、産科婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月を履修し、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間8ヶ月では、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、同期間を小児科及び産科婦人科に特化したプログラムの他に、救急診療およびすべての患者の初診という病院医療の基本的診療能力を身につけることを目的とした救急総合診療プログラムも設けています。
3. 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
4. 臨床研究の基礎トレーニングができます。
5. 医師としてのキャリア構築につながります。

●スケジュール例（一般プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						麻酔科		救急医療		外科	
2年目	小児科	産科 婦人科	精神科	地域 医療	希望履修選択							

※厚生労働省指定の必修科目である内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、地域医療1ヶ月の他、当院指定の必修科目として外科1ヶ月、麻酔科2ヶ月、小児科1ヶ月、産科婦人科1ヶ月

月、精神科1ヶ月、希望履修選択8ヶ月（獨協医科大学病院において標榜している診療科も選択研修可）

研修医の処遇

- 給与：40万円/月（当直4回の場合・宿日直手当等含む）
- 保険：公的医療保険（日本私立学校振興・共済事業団）、公的年金保険（日本私立学校振興・共済事業団）、雇用保険、労働者災害補償保険、医師賠償責任保険…施設限定医師賠償責任保険適用（個人任意保険加入可）
- 当直：あり（4回/月）
- 宿舎：職員寮あり

メッセージ

当院の特徴

当院は交差する二つの路線、JR 南越谷駅と東武新越谷駅から徒歩数分に位置し、交通至便です。大学病院でありながらも市中病院の役割も併せ持つ当院は、先進医療から一般的疾患まで幅広く診療を行っております。院内では各科・部の連携が強く、個々の患者を全体で診る態勢が整っており、医師としての第一歩を踏み出すには理想的な病院です。また埼玉県より、県東部地域の救急医療、周産期医療、小児医療の充実に向けて 200 床の増床が認められ、将来は 923 床となり、ますますの発展に期待ができます。



研修責任者から



臨床研修センター長

池上 敬一

入職後のオリエンテーション期間中に、ACLS プロバイダーコース(AHA)および AMLS(Advanced Medical Life Support) プロバイダーコースを受講し、2 年間有効の ACLS プロバイダーカードおよび 4 年間有効の AMLS プロバイダーカードの保持者となります。オリエンテーションが終了した後に外傷疾患の評価法である PHTLS コースを受講し、ACLS・AMLS とあわせて救急対応能力および適切な初期診療、鑑別診断を身につけることができます。

当院の前期研修の到達目標は、1) 初診患者の初期診療ができる、2) 医療全体のプランニングができる、3) 医療チームのリーダーができる、4) 入院患者のマネジメントができる、5) 一人当直・患者急変に対応できる、6) 医科学で社会貢献できる基礎を作る、としております。これらの目標を達成できれば、患者・病棟(診療部門)・先輩医師・医療チームから『仕事を頼める医師』『仕事ができる医師』として認知されるようになります。病院医療の仕事幅広くこなすことのできる医師となりますと、後期研修においても多くの学習機会を与えられるため、医師としてますます成長することにつながります。

臨床研修プログラムの 2 年目は希望履修プログラムになっているため、医師としてのキャリアプランを考慮した 自分自身の研修プログラムを設計することが可能です。

また平成 28 年度、当院にて大学院医学研究科の専攻分野を開設予定しています。希望者には社会人大学院制度を利用して勤務しながら(給与を得ながら)大学院生として研究を行い、学位(医学博士)の習得も可能です。

先輩研修医から



研修医 1 年目

奥村 武憲

獨協医大越谷病院で研修を始めて僕が感じた、この病院の良い点を挙げます。まず 1 つ目は先生方がとても気さくであり、どの診療科も雰囲気

がよい点です。2 つ目は症例数が十分にあり、検査や手術において、手技を積極的に担当させていただける点です。経験豊富なスタッフのサポートがあり、自信をもって参加できます。また勉強会も多く、手技の習得や学習に適した環境にあります。3 つ目は、様々な症例を経験できる点です。大学病院という環境にあるため、専門性の高い疾患を診る機会も多いですが、common disease も少なくなく、市中病院と大学病院の双方の利点を併せ持つ病院と思います。豊富な症例数、働きやすい環境、丁寧な指導体制が整っており、自分のやる気次第でどこまでも力をつけることができる病院であり、2 年間の研修を受けることに最適な病院のように感じます。

連絡先

CONTACT

学校法人獨協学園 獨協医科大学越谷病院

臨床研修センター
松島 稔

〒 343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

TEL 048-965-7842 (直通) FAX 048-965-9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL <http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/>

アクセス ● JR 武蔵野線 南越谷駅下車 徒歩 3 分
● 東武スカイツリーライン(東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線直通) 新越谷駅下車 徒歩 3 分

病院の概要

- 病床数 608 床
- 医師数 299 名（うち指導医数 43 名）
- 診療科 内科、循環器科、小児科、精神科、病理診断科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、救急科
- 1 日平均外来患者数 1377 名
- 1 日平均入院患者数 469 名
- 研修医数 1 年目 27 名 2 年目 23 名
- 研修医の主な出身大学 旭川医科大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、自治医科大学、獨協医科大学、筑波大学、埼玉医科大学、千葉大学、北里大学、昭和大学、帝京大学、東京女子医科大学、東京医科大学、東京大学、日本医科大学、日本大学、信州大学、新潟大学、浜松医科大学、島根大学、福岡大学、大分大学
- 主な認定施設 労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター 他



研修プログラムの特色

「患者にとって最善の医療をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とその実践を目標としています。これまでもスーパーローテーションに近い多科研修を行ってきましたが、研修が義務化された 2004 年度以降においても従来の経験を生かし、かつ厚生労働省の基準案に従ったスーパーローテーション方式による臨床研修を行い、これによって幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性にもとづいたすぐれた臨床能力を発揮できる医師を養成しています。

当センターは幸い多くの患者様に信頼されており、その診療を通して幅広い豊富な臨床経験を積むことができ、かつ総合的な視野に立った医師を養成することが可能です。日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけるとともに、医師としての人格を涵養することを目指してプログラムを設定しています。

●スケジュール例（一般プログラム・内科系志望者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科1		内科2			内科3		救急		産婦人科		
2年目	地域医療	外科	麻酔科	小児科	内科4		選択					

※自由選択3か月（精神科、臨床検査部、放射線科、CCU、ICU、各診療科など）

●スケジュール例（一般プログラム・外科専門医志望者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外科		内科1		内科2		内科3		救急			
2年目	地域医療	麻酔科	呼吸器外科	心臓外科	脳神経外科	整形外科	選択					

※自由選択3か月（精神科、臨床検査部、放射線科、CCU、ICU、各診療科など）

このほかにも、上記以外の一般プログラムコース（外科系専門診療科志望・救急専門医志望など）、小児科プログラム、

産婦人科プログラム、ホスピタリスト重視プログラム等各自の希望に応じて柔軟に対応するプログラムを用意しています。

研修医の処遇

- 給与：約 21 万円／月
- 諸手当：地域手当、医師手当、宿日直手当、期末手当
- 保険：日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険
- 当直：あり（約 3 回／月）
- 宿舍：あり

メッセージ

当院の特徴

自治医科大学附属さいたま医療センターは中核医療施設として市民病院的な役割を担っているとともに、大学病院としての高度専門医療の提供も重要な責務としています。Common Disease の診療から、稀な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療に当たっています。



研修責任者から



卒後臨床研修室長

加計 正文

自治医科大学附属さいたま医療センターは開院以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れて今日まで来ました。研修指導は屋根瓦方式を遵守することで軽微な内容から高度な指導まで可能となるきめ細やかな指導体制をとっています。厚生労働省が提唱する初期臨床研修期間中に経験すべき症例は無論のこと研修医が希望する研修内容を個別に取り入れ柔軟に対応できるプログラムを用意していますので充実した臨床研修ができます。当センターの初期研修医は全国から集まっているのが特徴ですが、様々な情報を各研修医間で共有でき、研修プログラムの改善へ向けての卒後臨床研修室との意見交換を通じて常に研修内容の改訂を検討しています。また、指導医の陣容に関しても豊富な経験と業績を持つ教授・准教授スタッフなどの教職員が揃っており、皆さんの研修を支援します。

先輩研修医から



当センターは大学附属病院という側面を持ちながら、一方で市中病院的な側面を持っているため、めったに出会わない

症例から common disease まで幅広く勉強することができます。また、自治医科大学の附属病院であるため自治医科大学の

建学理念を反映して、総合医を育てるような研修プログラムが組まれています。診療の skill を磨くことに加えて、毎週行われる総合回診や日々病棟で行われるカンファレンスで、患者の情報を他者に伝えるプレゼンテーション能力を初期研修のうちにしっかりと身につけることができます。また、2か月に1度程度外国人医師が2週間来院する期間があり、英語でプレゼンテーションをする機会もあります。日々の業務で出た疑問点に対しては、屋根瓦方式で学年の近い指導医やさらに上の医師から教育を受けることができます。

連絡先

CONTACT

自治医科大学附属 **さいたま医療センター**

卒後臨床研修室・総務課

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL 048-648-5225（直通）

FAX 048-648-5166

E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp

URL <http://www.jichi.ac.jp/center/sotsugo/index.html>

アクセス JR大宮駅東口からバスで約 10 分

病院の概要

- 病床数 372 床
- 医師数 73 名（うち指導医数 14 名）
- 診療科 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科 膠原病・感染内科、腫瘍内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、内視鏡科、救急科、総合診療科（全 29 科）
- 1 日平均外来患者数 762.5 名
- 1 日平均入院患者数 245.6 名
- 研修医数 1 年目 0 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 北里大学
- 主な認定施設 災害拠点病院、埼玉 DMAT・埼玉 SMART（特別機動援助隊）指定病院、厚生労働省 臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院 他
※その他各種学会の研修・認定施設（現在 36 認定施設）



研修プログラムの特色

臨床研修医が初期の 2 年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満足させると同時に、別に定める各科臨床研修の到達目標を定め、研修医による達成自己評価と指導医による指導医評価によって、より適切な研修が受けられるように配慮しています。また、研修医の定員を少数にすることにより、より密に上級医からの指導を受けることが可能です。専門分化した医療技術の習得前に、医師として全人的な初

期治療のできる優秀な臨床医を育成すること、特に地域医療を中心としたプライマリ・ケアに重点を置き、将来の専攻科にかかわらず救急疾患に対処できるような医師を育てることを目標としています。

また、学校法人北里研究所の大きな取り組みの一つであるチーム医療教育ができるプログラムとしています。

●スケジュール例（北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						麻酔科			救急科		
2年目	選択										選択必修	地域医療

地域医療コースと 4 病院自由選択コースを有し、初期 1 年目に内科、麻酔科、救急外来での研修を必修とし、2 年目では選択必修科目（外科、産婦人科、小児科、精神科）のうち 1 科目と地域医療を必修とし、残りの 10 ヶ月間は将来の専攻科を考慮し、地域医療コース・4 病院自由選択コースから選択とします。その内容も研修医各自の自由選択を可能としました。

1. 選択科

(1) 4 病院自由選択コース

当院を含めた北里大学病院、北里大学東病院、北里大学

北里研究所病院より研修可能な診療科を選択可能です。

(2) 地域医療コース（内科系・外科系・母性系）

地域の病院・診療所などを後方支援するという形で医療機関の機能の役割分担と連携を目的に創設されレベルアップの向上に向け研修します。また災害拠点病院として、初期救急医療の研修と、傷病者受け入れ及び搬出を行う広域搬送への対応も研修します。

2. 選択必修

小児科、外科、産婦人科、精神科より 1 科目を選択。

研修医の処遇

- 給与：1年次 約30万円/月 2年次 約34万円/月（基本給+当直3回の場合）
- 諸手当：住宅手当、宿日直手当、救急手当等は別途支給
- 保険：日本私立学校振興・共済事業団に加入
- 当直：あり（3～4回/月）
- 宿舎：あり（ワンルームタイプ）
- その他：賞与 1年次 約20万円 2年次 約40万円

メッセージ

当院の特徴

当院は、北里柴三郎博士の精神を基盤とし、予防医学から臨床医学までの一貫した医学的奉仕の実践を目標に埼玉県北本市に平成元年に開設し、高い専門性と幅広い視点に立った総合的医療を提供しております。

また、県立自然観察公園が隣接し、病院内には多くの絵画が常設しており、緑豊かな自然と絵画のある療養環境に恵まれた病院です。

平成27年1月には学校教育法に定める「医育機関」として医学教育を行う病院となり、「地域医療を追求し学べる病院」を目指しています。

研修責任者から



副院長（教育担当）、
臨床研修センター長

坂東 由紀

当院のプログラムでは、地域医療機関との連携のもとプライマリ・ケアを中心に初期研修を行っています。また、北里グループとして高度先進医療を提供する北里大学病院、回復期・緩和医療の北里大学東病院、都市型市中病院・予防医学の北里研究所病院と研修医のさまざまなニーズに応えるべく、協力体制を整えております。

チーム医療の推進も行っており、院内のさまざまなチームによって、患者の皆様の目線に立った医療を行っています。指導体制も指導医だけではなく看護師をはじめメディカルスタッフ、事務など、多くのスタッフで皆様の研修をサポートしています。

もちろん初期だけではなく後期研修やその先まで含めた医師としてのキャリアを目指すことが出来ます。

先輩研修医から



24・25年度
研修医

永久 太一

当院は大学附属病院としての専門性を備えながら、地域の中核病院として総合医療やプライマリ・ケアに重点を置いた市中病院的な特徴も有しているため、これら両者を同時に修得することが可能です。

様々な疾患に対応するための実践的で general な臨床能力を身につけたいと考えている方には、最適の研修施設だと考えます。

地域医療の一端を担う人材として、当院での初期研修を考えてみませんか！

連絡先

CONTACT

北里大学メディカルセンター

教務課
寺山・小林

〒364-8501 北本市荒井 6-100

TEL 048-593-1212（代表）

FAX 048-593-1239

E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp

URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/concern/bosyuu-rinshou/>

アクセス JR 高崎線北本駅から当院行きバス 10分

病院の概要

- 病床数 816 床
- 医師数 330 名（うち指導医数 106 名）
- 診療科 血液内科、リウマチ膠原病科、呼吸器内科、消化器内科・肝臓内科、内分泌内科・糖尿病内科、神経内科・脳卒中内科、腎臓内科、総合診療内科、感染症科・感染制御科、消化器・一般外科、乳腺腫瘍科、小児外科、麻酔科、小児科、新生児・未熟児科、産科・婦人科、整形外科・脊椎外科、眼科、耳鼻咽喉科、神経耳科、皮膚科、脳神経外科、形成外科・美容外科、泌尿器科、リハビリテーション科、神経精神科・心療内科、放射線科、放射線腫瘍科、核医学診療科、中央病理診断部、輸血・細胞移植部、健康管理センター、東洋医学診療科、歯科・口腔外科、急患センター（ER）
- 1日平均外来患者数 1826.5 名
- 1日平均入院患者数 755.9 名
- 研修医数 1年目 29 名 2年目 27 名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、川崎医科大学、長崎大学
- 主な認定施設 日本内科学会、日本外科学会、日本アレルギー学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本内分泌学会 他



研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について“研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学附属の違った特色を持つ3つの大学病院（総ベッド数2,500）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。

研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと中身は一緒ですが研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で、研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。

総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、あらゆる診療科に進む研修医に適しており、バランス良くプライマリケア医としての対応能力に優れた“総合医”の育成を目指しています。埼玉医科大学以外に群馬大学、信州大学、

慶應義塾大学、日本大学、獨協医科大学などの附属病院での研修も一定期間行うことができる、最も選択範囲の広いプログラムです。

周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。

外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。

●スケジュール例（埼玉医科大学 3病院自由選択プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修	内科（6M）						救急（3M）			選択必修（2M）	
2年目	地域医療	自由選択（10M）										導入研修

* 1年目 必修研修として内科6か月間、救急部門3か月間、選択必修研修（外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科のうち2診療科を選択し各々1か月間）

* 2年目 地域医療研修1か月間、それ以外11か月間は自由選択研修（最終月3月は埼玉医科大学病院において研修）

研修医の処遇

- 給与：約 25 万円／月
- 保険：社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 宿舍：あり
- 諸手当：日当直手当
- 当直：あり（4 回／月）
- その他：白衣貸与（クリーニング代は病院負担）

メッセージ

当院の特徴

埼玉医科大学病院は、主として埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。病院の近隣には大きな病院がなく、また地域の特性から大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで多くの疾患を経験できるという特徴があり、メリットを十分生かした研修ができます。また、スキルスラボの設備もありますのでより充実した研修も可能です。



研修責任者から



研修管理委員長

中元 秀友

研修医諸君！埼玉医科大学病院は君たちを待っています！

初期研修の目的は「患者さんを全人的に診療する為の基本的な能力を身につけ、プライマリケアに対応できる総合診療能力を養う」ことにあります。初期臨床研修に携わる2年間は将来の臨床医としての能力を左右する、最も重要な期間です。

埼玉医科大学病院は、地域に根ざした重要な機関病院であり、沢山の患者さんが来院されます。また大学病院として、最先端の医療を実践しています。そして沢山の指導医が、熱心に研修医諸君の臨床研修、研究等に協力してくれます。埼玉医科大学病院は、豊富な症例と熱心な指導医の下、充実した臨床研修が出来ることを保証します。確実に実力がつく研修施設なのです。

また緑あふれる自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さは、最高の研修環境を提供してくれます。セキュリティー完備の研修センターには研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー等が完備されています。

埼玉医科大学病院は、皆さんに最も適した臨床研修の場を提供できることを確信しています。一度見学に来てください。研修医を目指す皆さんと、埼玉医科大学病院でお会いできること、楽しみにしています。

先輩研修医から



研修医 1 年目

内田 党中央

まず環境がいい！人口の多い埼玉県全域から患者様が集まることを考えると、ごく稀な症例含めこれだけ症例数が多い病院はそうないと思います。埼玉医大グループの大きな病院3つのどの科でも研修出来るので自由度も高いですし、地方研修で九州に行くことも出来ます。手技も沢山やらせて頂けます！！

休みはしっかり保証されていますのでご心配なく。立地ですが、少し移動すれば川、山など自然に溢れ、都内へは電車で1時間と、そんなに遠くはないと思います。そのような都会に近い自然溢れる環境で休日は同期と自然を楽しむのもよし！都内に遊びに行くのもよし！平日は面倒見の良い先生方と沢山の患者様についてゆっくり勉強出来る！というのが埼玉医大の魅力ではないでしょうか？

元気な研修医の方々、一緒に勉強しましょう！！一緒に遊びましょう！お待ちしております！！

連絡先

埼玉医科大学病院

臨床研修センター

CONTACT

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地

TEL 049-276-1862 (直通)

FAX 049-276-2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html>

アクセス ● JR 八高線毛呂駅から徒歩 3 分

● 東武越生線東毛呂駅から徒歩 20 分

病院の概要

- 病床数 991床
- 医師数 375名（うち指導医数 107名）
- 診療科 消化器・肝臓内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、心臓内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、神経内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化管外科・一般外科、肝胆膵外科・小児外科、血管外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科・美容外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、産科麻酔科、高度救命救急センター、救急科（ER）、輸血・細胞治療部、病理部
- 1日平均外来患者数 2179名
- 1日平均入院患者数 836名
- 研修医数 1年目 24名 2年目 28名
- 研修医の主な出身大学 大阪市立大学、埼玉医科大学、産業医科大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学、北里大学、東京医科大学
- 主な認定施設 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院 他



研修プログラムの特色

当院のプログラムには、内科領域の研修を重視した『総合内科系プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』、外科領域と救急医療の研修を重視した『総合外科系プログラム』、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』があります。

当院では、診療に必要な基本的姿勢、手技を身につける

ため、4月にオリエンテーションを含む導入研修を1ヶ月間行います。内科・救急での研修期間中に研修医全員がER当直に参加し、一次、二次救急医療に従事することで多数の症例を経験し、プライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

●スケジュール例（総合内科系プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科									選択必修	内科	
2年目	内科	救急	麻酔科	地域医療	自由選択			調整月	自由選択			

*【必修科目】内科11ヶ月（うち3ヶ月は協力型病院で研修可）、救急2ヶ月（当直を1ヶ月相当として合計3ヶ月）、地域医療1ヶ月、【選択必修科目】麻酔科2ヶ月および外科、

産婦人科、小児科、精神科のうち2科以上、【自由選択科目】到達目標の達成が困難な場合、5ヶ月のうち1ヶ月を調整月とし、2週間単位で研修可

研修医の処遇

- 給与：基本給 25万円/月
- 保険：日本私立学校振興・共済事業団
- 宿舎：あり（月額2万円）
- 諸手当：宿日直手当あり
- 当直：あり（平均4回/月）

メッセージ

当院の特徴

【高度救命救急センター】

重症外傷をはじめとした多岐にわたる患者の診療を行っています。通常のドクターヘリ活動の他、被災地への医療救助チームの派遣も行っていきます。現在、国内最大規模の新棟を建設中です。

【総合周産期母子医療センター】

県内唯一の総合周産期母子医療センターであり、リスクの高い母体・胎児および新生児医療の基幹病院として世界有数の最新医療を行い、地域に大きく貢献しています。

【研修医用フロア】

平成 27 年 5 月竣工予定の管理棟には、個人用デスク、当直室、ロッカールーム、ラウンジ、カンファレンスルーム、事務室を備えた研修医用フロアが整備されます。



ドクターヘリ



総合周産期母子医療センター

研修責任者から

副院長、
研修管理委員長

屋嘉比康治

当院の初期臨床研修では、地域医療に有用な幅広い臨床能力を持つ臨床医の育成を目指しています。救急外来を指導医とともに担当し、実践の中で初期対応を習得してもらいます。さらに地域医療研修中には離島診療を体験してもらい、スタッフや施設の揃わない状況の中で医師として何が必要かを学んでもらいたいと考えています。研修内容については、できるだけ実臨床に役立つ代表的な疾患や症状に集約し、学んだことが拡散せず、身についていくような目標設定としました。これらの研修を通じて、すべての研修医が地域医療を担える臨床医へ育つことを期待しています。

先輩研修医から



研修医 2 年目

宮内健一郎

私も学生の時は、皆さんと同じ様に、研修先についてたくさん悩みました。色々な病院を見学しに行ったり、先輩に話を聴きに行ったり…。そんな中で気付いたのは「病院の施設とプログラム」と同じぐらい「自分のやる気」が大切なのだということでした。当院は、指導熱心なドクターが多く、私たちの「やる気」を十二分に発揮させてくれる環境が整っていると思います。皆さんと一緒に、楽しくも充実した研修生活を送ることができる日を研修医一同楽しみに待っています。

連絡先

CONTACT

埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター（総務課）

〒 350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL 049-228-3802（直通）

FAX 049-226-5274

E-mail kensi@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/kensyui/index.html>

アクセス 東武東上線・JR埼京線 川越駅からバス 25 分

病院の概要

- 病床数 700 床
- 医師数 272 名（うち指導医数 86 名）
- 診療科 脳脊髄腫瘍科、小児腫瘍科、小児外科、造血管腫瘍科、婦人科腫瘍科、泌尿器腫瘍科、乳腺腫瘍科、皮膚腫瘍科、骨軟部組織腫瘍科、頭頸部腫瘍科、形成外科、腫瘍内科、緩和医療科、精神腫瘍科、放射線腫瘍科、病理診断科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、心臓内科、心臓血管外科、小児心臓外科、小児心臓科、心臓リハビリテーション科、救命救急科、脳卒中内科、脳卒中外科、脳血管内治療科、小児救急科、総合診療・地域医療科、画像診断科、核医学科、運動・呼吸器リハビリテーション科、麻酔科、集中治療科
- 1日平均外来患者数 704.1 名
- 1日平均入院患者数 645.4 名
- 研修医数 1年目 1名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、日本大学、鹿児島大学
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度に基づいた研修プログラム認定、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本麻酔科学会医療法に基づく麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関 他



研修プログラムの特色

当院は、埼玉医科大学の3つの病院が近いことを生かし、将来、ジェネラルとしても、エキスパートとしても医療現場で活躍できるプログラムを作成いたしました。

- ◆ 3病院自由選択プログラムは本学3病院の診療科を研修医が自由に選択することができる、もっとも自由度が高いプログラムです。
- ◆ 専門プログラムは早期の専門医養成コースという位置づけで作成し、早い段階から、がんや心臓、脳卒中などのエキス

パートを希望される方に向けたプログラムです。

- ◆ 研究マインド育成自由選択プログラムは臨床研修と大学院を同時期に学べるプログラムで、研修開始時には大学院の入学試験に合格しておく必要があります。
- ◆ 特設外科系プログラムは多彩な症例を通じて多くの手技を経験し、適切な判断ができる外科系医師を育成することを第1目標とするプログラムです。

●スケジュール例（3病院自由選択プログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修	内科						選択必修		救急		
2年目	地域医療	自由選択								調整月	自由選択	

- * 導入研修：オリエンテーションを兼ねて当院で行います。
- * 選択必修：外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科より2科を選択して1か月ずつ計2か月間研修を行います。
- * 自由選択：本学3病院及び研修協力施設より選択できます（2年次3月除く）。

- * 調整月：到達目標を達成するために充てます（原則12月～翌年2月のうちの1か月間）。
- * 地域医療：1か月を週単位にて4週に分け、最大4施設、最小1施設を選択することができます。
- * 2年間を通じて、本学3病院を自由に選択することが可能ですが、8か月間以上を当院で研修することとします。

研修医の処遇

- 給与：約 25 万円／月
- 諸手当：日当直手当
- 保険：公的医療保険、公的年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償保険
- 当直：あり（4 回／月）
- 宿舍：あり
- その他：白衣貸与（クリーニングは病院負担）

メッセージ

当院の特徴

埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供することを病院の使命としています。3km ほど離れた埼玉医科大学病院と1つのメディカルセンターを形成し、当院は生命に直ちに関わるがん、心臓病、脳卒中を含めた救命救急の治療を得意としています。病院で働く全てのスタッフが「患者中心の医療」を心掛け、安心して安全な満足度の高い、質の高い医療を目指し、一人ひとりの患者さんに病院全員で治療にあたるという基本を貫いています。



研修責任者から



臨床研修センター
室長

棚橋 紀夫

当院では、初期研修医とその後の後期研修医（シニアレジデント）のどちらもお引き受けし、日々の救急疾患をはじめ、がん、心臓病、脳卒中のすべてをお世話しております。将来スーパードクターを目指す人、親の後を継いで開業を考えている人、臨床のみならず研究面でも活躍したい人、症例の多い病院でとにかく沢山の経験を積みたい人、学位取得を希望される人にはお勧めの病院です。それぞれの診療科が非常に高い専門性を持って最先端の医療を展開しているのが当院の特徴です。各診療科にはきっと皆さんが目指したいと思う先生がいることでしょう。知識や経験はこれからですのでやる気と元気のある若い先生を歓迎します。そして来ていただいたからにはみんなで一生懸命指導させていただくことをお約束します。

先輩研修医から



研修医 1 年目

滝本 磨理香

私は学生時代の印象の良さと、common disease から希少な疾患まで幅広く経験することができること、また、高度先進医療が充実しているため、専門的治療を要する患者さんが集中する恵まれた環境であることから当院を研修先として選びました。

熱心な指導医の先生の下、研修医でありながら早い段階から数多くの手技を実践することが可能で、実際、手術に入った時に縫合や鉤引きなどを躊躇なくでき自信につながっています。また、「がん、心臓病、脳卒中」に対する専門的治療をローテーションしながら間近で学ぶことができることは自分にとって大きな糧にもなっています。

研修 2 年間は本学 3 病院を自由に選択しながら回ることができ充実した研修が行え、頑張った分だけ成長できます。1 学年の研修医の数が少ないためアットホームな雰囲気です。研修できる当院で一緒に働きましょう。

連絡先

CONTACT

埼玉医科大学国際医療センター

臨床研修センター

〒 350-1298 日高市山根 1397-1

TEL 042-984-0079 (直通)

FAX 042-984-0594

E-mail imckensh@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/>

アクセス ● J R 川越線・八高線 高麗川駅 (路線バス約 10 分)

● 東武越生線 東毛呂駅 (路線バス約 15 分)

埼玉県総合医局機構

平成 25 年 12 月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。



● 「医師の確保・派遣」のための取組

「医師バンク」事業

埼玉県内の病院での勤務を希望する医師（指導医等）の方を、医師を募集している埼玉県内の病院・診療所に紹介し、医師と医療機関の出会いの機会をサポートしています。

「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援しています。

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す方へ資金を貸与



埼玉県の病院で医師として勤務



貸与された資金の返還が免除!!

	臨床研修医研修資金	後期研修医研修資金
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額 10 万円以内	月額 20 万円以内
貸与期間	2 年以内	3 年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の 1.5 倍勤務すること	

【例】後期研修医研修資金の場合

後期研修			勤務			
1 年次	2 年次	3 年次	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
研修資金 720 万円貸与			県内の病院に 4 年 6 か月勤務			

返還免除!

「医師育成奨学金」貸与事業

埼玉県外の大学医学部を目指している方を支援しています。

対象者	埼玉県外の医学部を目指す方
貸与金額	入学金 100 万円以内、月額 20 万円以内
貸与期間	大学卒業まで
返還免除条件	埼玉県内の医師不足地域の公的医療機関又は県内の病院の産科、小児科、救命救急センターで貸与期間の 1.5 倍勤務すること

「交流会」事業

埼玉県内での病院勤務に関心のある医学生や自治医科大学学生等と、県内の医療関係者が交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。



「高校生の志」養成事業

医師を目指す高校生の志を養成するため、模擬医療体験や若手医師との懇談会などを行う「高校生の志」養成事業を実施しています。



● 「医師の支援」のための取組

「医師のキャリアアッププログラムの作成」事業

埼玉県総合医局機構の制度を利用した医師が、県内の様々な地域や医療機関をローテーションしてキャリアアップできるようなプログラムを作成しています。

「女性医師の支援」事業

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、復職研修を実施した病院や、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

- 相談窓口（受付時間 平日 9：00～17：00）
埼玉県さいたま市浦和区仲町 3-5-1 県民健康センター内
- 電話相談窓口（受付時間 平日 9：00～17：00）
TEL 048-815-7115 **FAX 048-815-7175**
- 電子メール：info@saitama-joi.jp

～その他にも様々な取組を行っています。～

お問い合わせ先 **埼玉県総合医局機構（埼玉県医療整備課内）**
TEL：048-830-3546 E-mail：a3530-05@pref.saitama.lg.jp
ホームページ：http://kobaton-med.jp/



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県臨床研修病院ガイドブック2015

— 平成 27 年 3 月発行 —

編集・発行 / 埼玉県保健医療部医療整備課 医師確保対策担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-3546 FAX 048-830-4802

E-mail a3530-05@pref.saitama.lg.jp

● ホームページ ●

埼玉県 医師確保・支援

検索

<http://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/iryo/ishikakuho/index.html>